

第14回 まちづくりネットモニター

テーマ「郡山市観光戦略ビジョンについて」

(実施期間：2021年2月1日～2月10日 10日間)

郡山市では、2019年3月に「郡山市観光戦略ビジョン」を策定し、各種観光施策を進めております。

現在、新型コロナウイルス感染の拡大に伴う「新しい生活様式」の対応や移動自粛など、観光を取り巻く環境が目まぐるしく変わってきていることから、ウィズコロナへの対応を踏まえた観光ビジョンの見直しに向けてご意見を把握するため、アンケートを実施いたしました

観光課

調査概要

- ・回答方法 専用ウェブサイトからの回答
- ・モニター数 360人
- ・回答数 321人（回答率：89%）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
女性	8人	9人	42人	55人	38人	15人	1人	1人	169人
男性	5人	5人	15人	29人	33人	16人	42人	7人	152人
計	13人	14人	57人	84人	71人	31人	43人	8人	321人

【参考】



結果概要

【本市観光の現状・イメージ】問5 問6

- ・本市の観光イメージ：「アクセスが便利」（60%）「温泉が良い」（15%）
- ・市外の方へおすすめ観光地・お土産：「銘菓」（38%）「猪苗代湖」（33%）

【新型コロナの影響による観光趣向の変化】問13

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により旅行スタイルが変化した方（74%）
「近郊の観光地を訪れることが多くなった。」が最も多い（46%）（問13）

【屋外アクティビティへの関心度】問20 問21 問22

- ・最近「サイクリング」に興味（25%）、最近「キャンプ」に興味（41%）
- ・「サイクリング」による誘客での重点事項
「安全で走りやすい自動車専用レーン等整備」（64%）

【ウィズコロナの観光施策】問25

- ・重要事項は、「観光施設等での感染対策」（54%）「ニーズに合わせた観光コンテンツ開発」（18%）

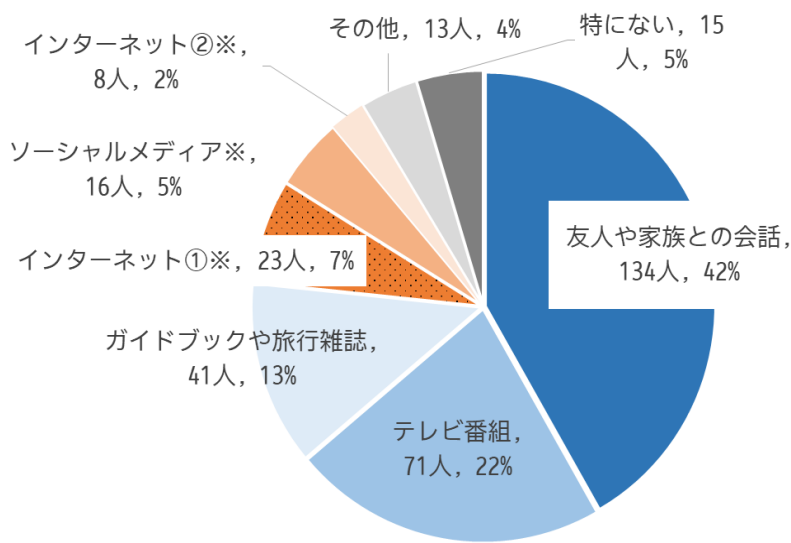
考察

- ・ウィズコロナで近郊の観光地を訪ねるマイクロツーリズムの需要や屋外アクティビティへの関心度が高まっており、広域圏内の観光スポットにも足を運び、観光ポテンシャルの高い「猪苗代湖」を観光地として勤める方が増えている。
- ・新型コロナの影響により変化した旅行スタイルは数年続くと想定している方が多く、ウィズコロナの視点から感染対策施策を進めるとともに、観光ニーズが多様化しており「ニーズに合わせた観光コンテンツ開発」が求められている。

第1章 あなた自身について

問1 あなたが、旅行に行きたくなる動機(きっかけ)として、これまで一番多かったと思うものをお選びください。(1つ選択)

①【問1 旅行動機】



※ インターネット①：ウェブサイト内のニュースや特集記事など

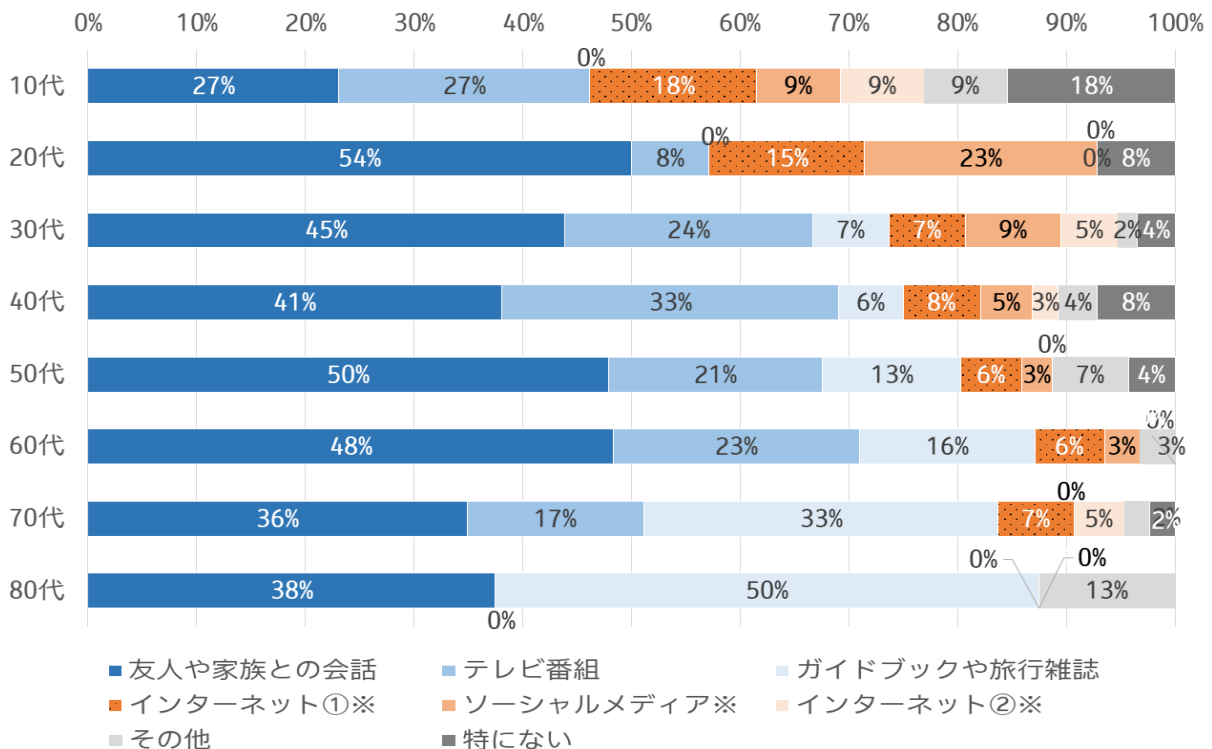
インターネット②：ダウンロードできる旅行に関するデジタルパンフレットなど

ソーシャルメディア：Instagram、ツイッターなど

● 「その他」の主な内容

- ・フリーペーパー特集
- ・気分転換をしたいとき
- ・好きなアーティストの地方ライブ鑑賞 等

②【問1 旅行動機×年代別】旅行動機を年代別で比較

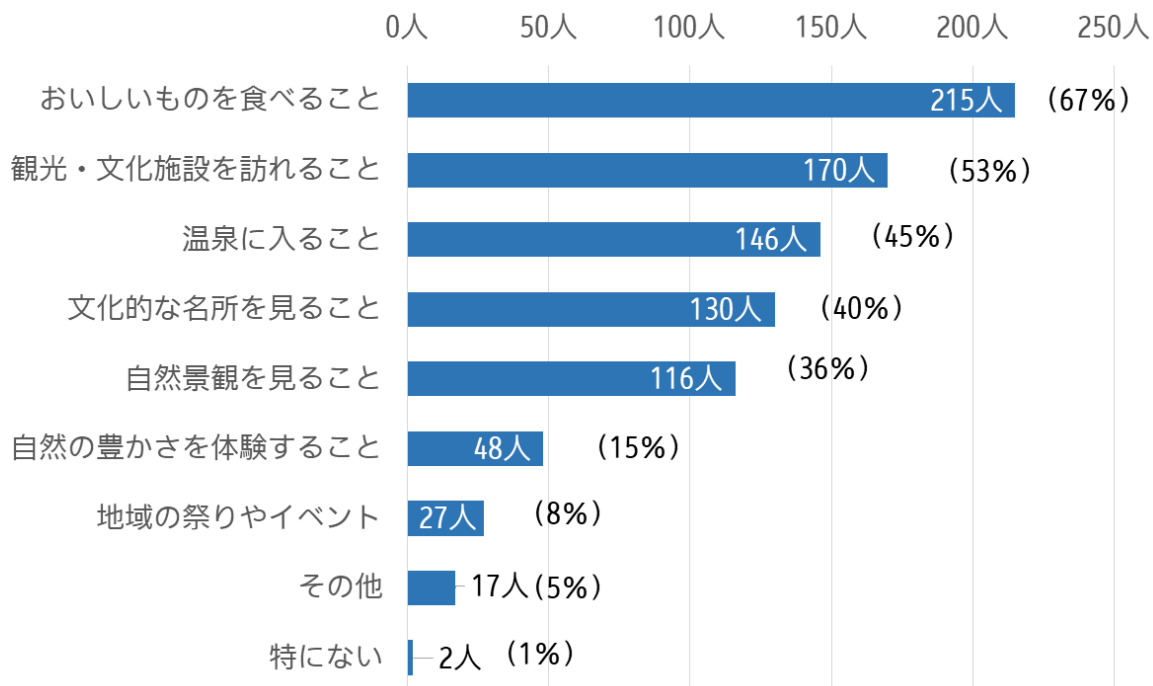


①旅行動機として主なものは「家族、友人の会話」「テレビ番組」など日常生活の中で外的要因によるものが多い。

②年代的特徴としては、20代では「家族、友人の会話」「ソーシャルメディア」、30代・40代では「テレビ番組」、70代・80代では「ガイドブック・雑誌」が多い。

問2 あなたが、旅行の目的として、重視しているものをお選びください。(3つまで選択)

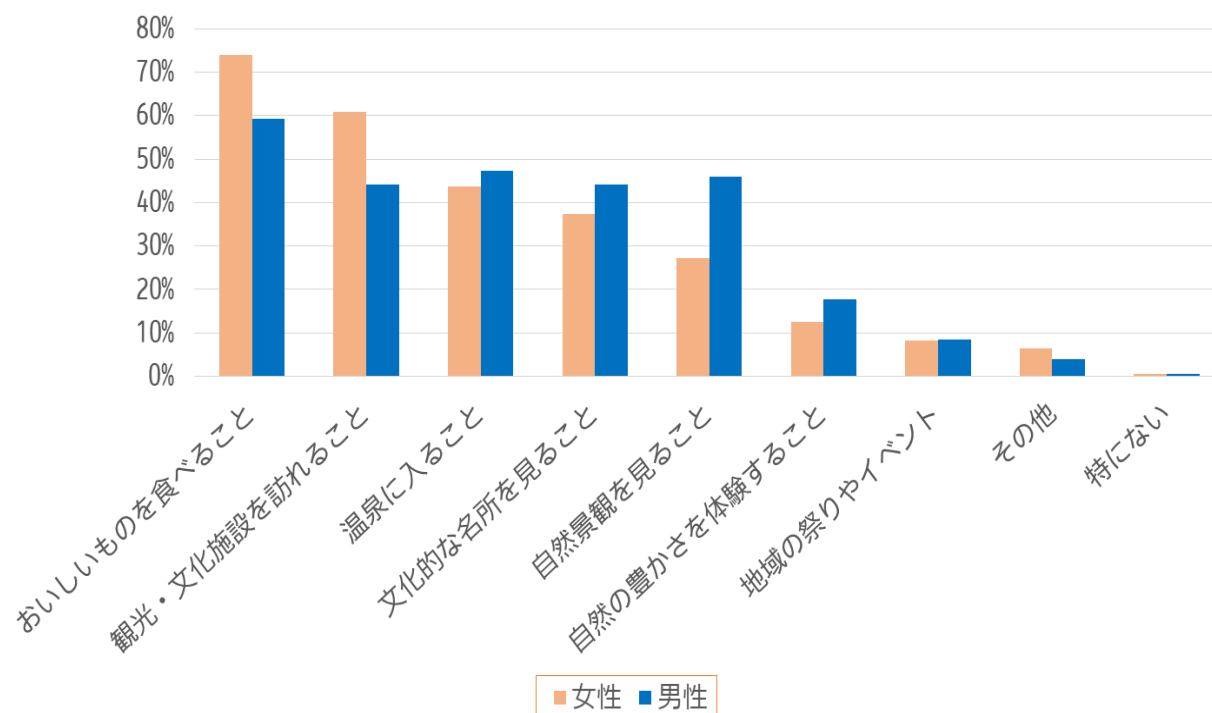
①【問2旅行目的】 N=360人



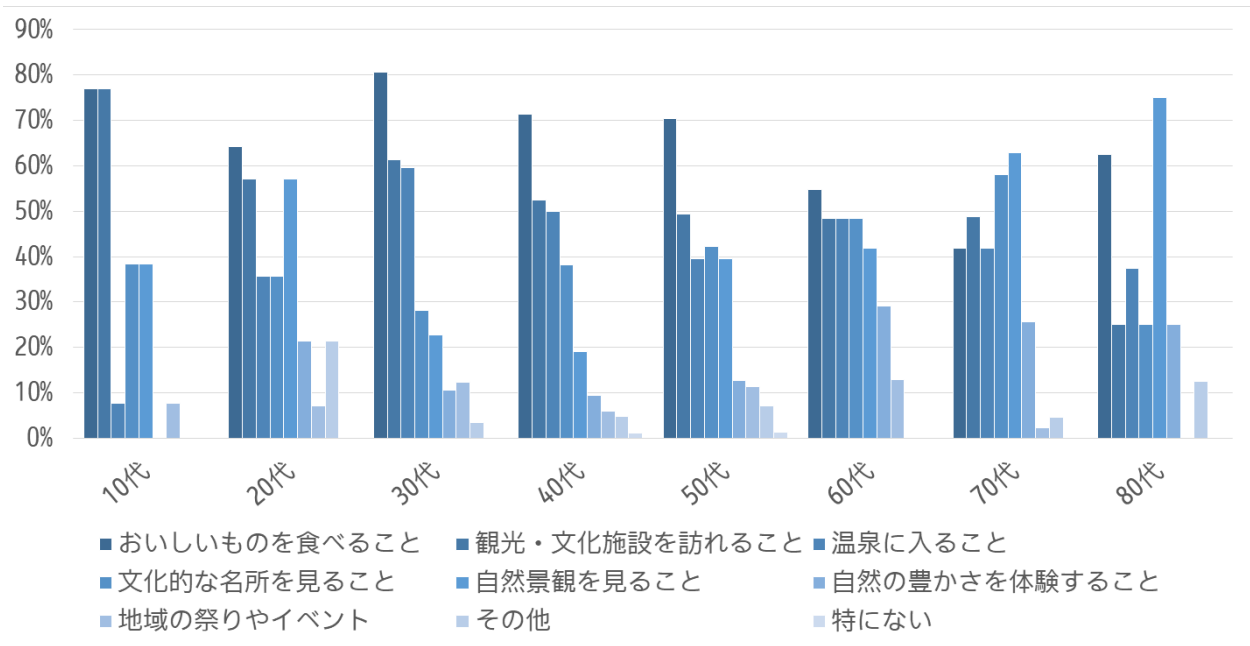
●「その他」の主な内容

・子供が楽しめる ・趣味に関することがある ・ゆっくりできる 等

②【問2旅行目的×性別】性別の旅行目的を比較



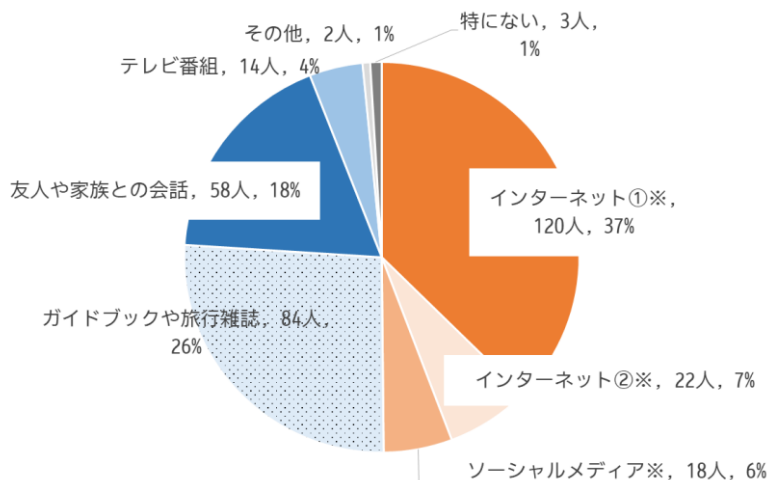
③【問2旅行目的×年代別】年代別の旅行目的を比較



- ①旅行目的として、全体の67%が「おいしいものを食べる」ことを旅の目的としており、観光における「食」に対する関心度は高い。
- ②性別による特徴としては、「女性」は「おいしいものを食べる」「観光・文化施設」、男性は「自然景観鑑賞」への関心度が高い。
- ③全世代を通じて「おいしいものを食べる」が高いが、70代・80代では「自然景観鑑賞」への関心が高い。

問3 あなたが旅行先で立ち寄る様々なスポットや食べたいものなどの予定や計画を決めるときに一番参考になっているものをお選びください。(1つ選択)

① 【問3 情報収集】



※ インターネット①：ウェブサイト内のニュースや特集記事など

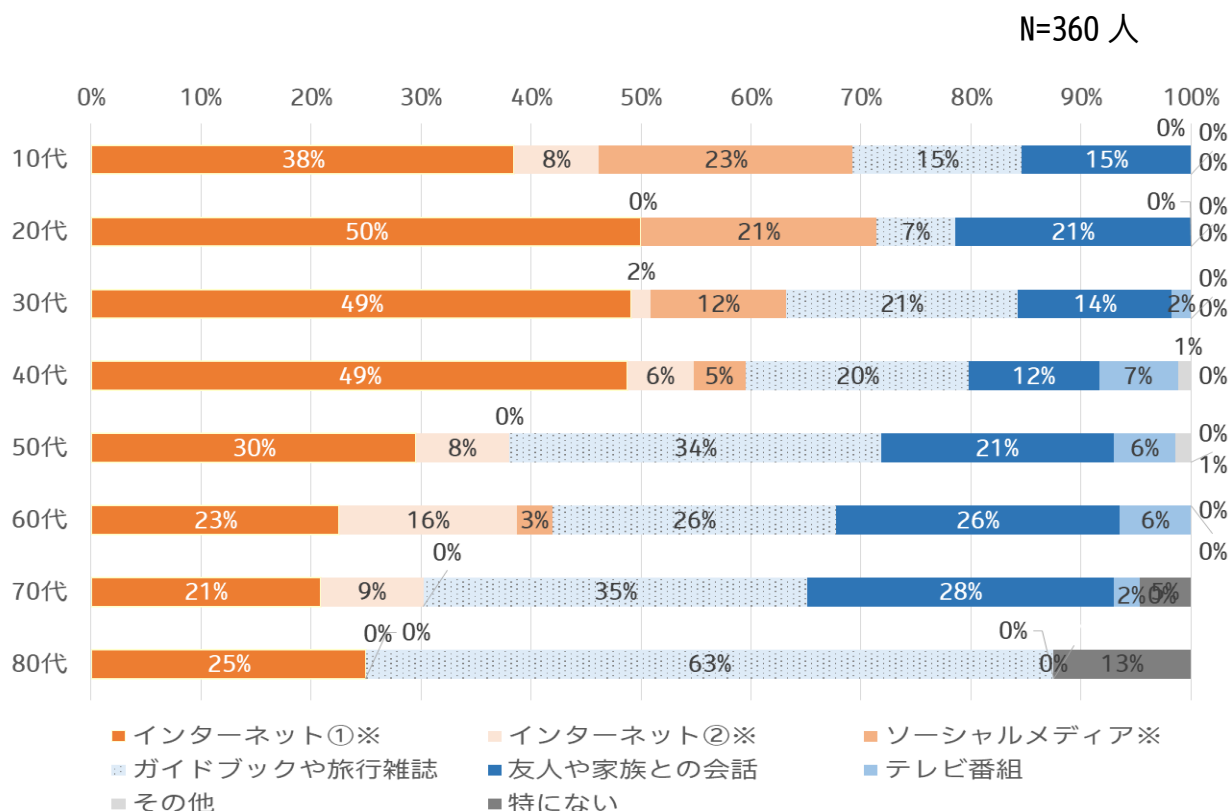
インターネット②：ダウンロードできる旅行に関するデジタルパンフレットなど

ソーシャルメディア：Instagram、ツイッターなど

● 「その他」の主な内容

・ 様々なツール併用 等

② 【問3 情報収集×年代別】 年代別の情報収集ツールを比較



① 「インターネット」「ソーシャルメディア」などデジタルによる情報収集が5割となっている。【問1 旅行動機】との関係性では、「家族や友人との会話」や「テレビ番組」が旅行を検討する契機となるが、旅の計画など詳細はデジタルにより情報収集が行われている。

② 年代別では、40代以下ではデジタル情報が5割を超え、50代以上では「ガイドブック」「家族や友人との会話」「テレビ番組」によるものが多い。

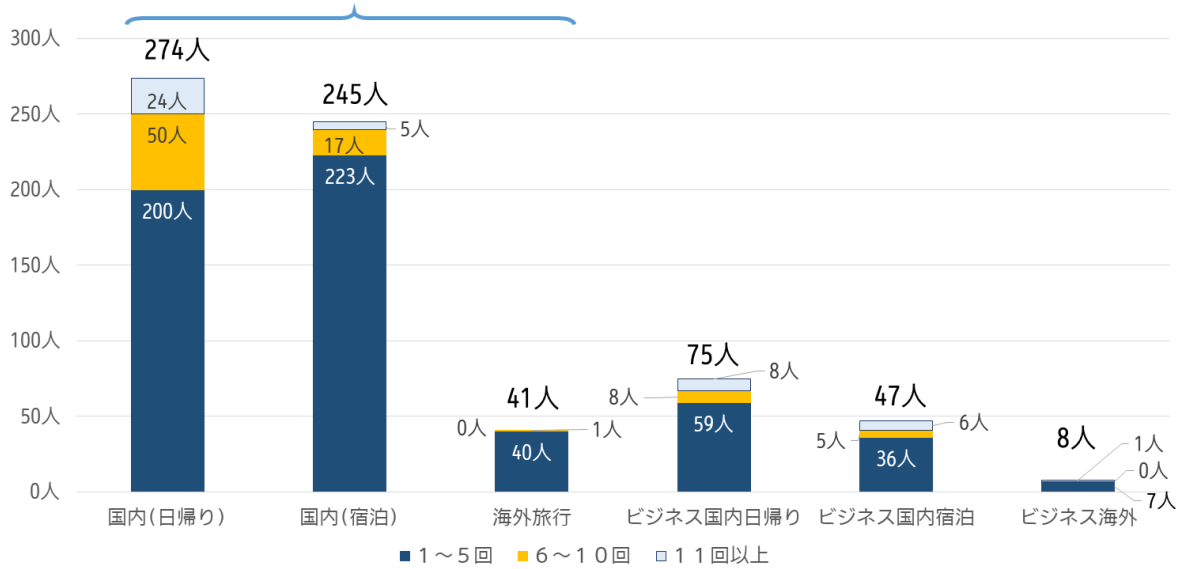
また、10代・20代における「ソーシャルメディア」の割合は、他世代に比して多い。

**問4 あなたは、2019年中、観光やビジネスでどのくらい旅行に行かれましたか？
（それぞれの区分ごとに1つ選択）**

【問4 旅行種別ごと人数】

N=360人

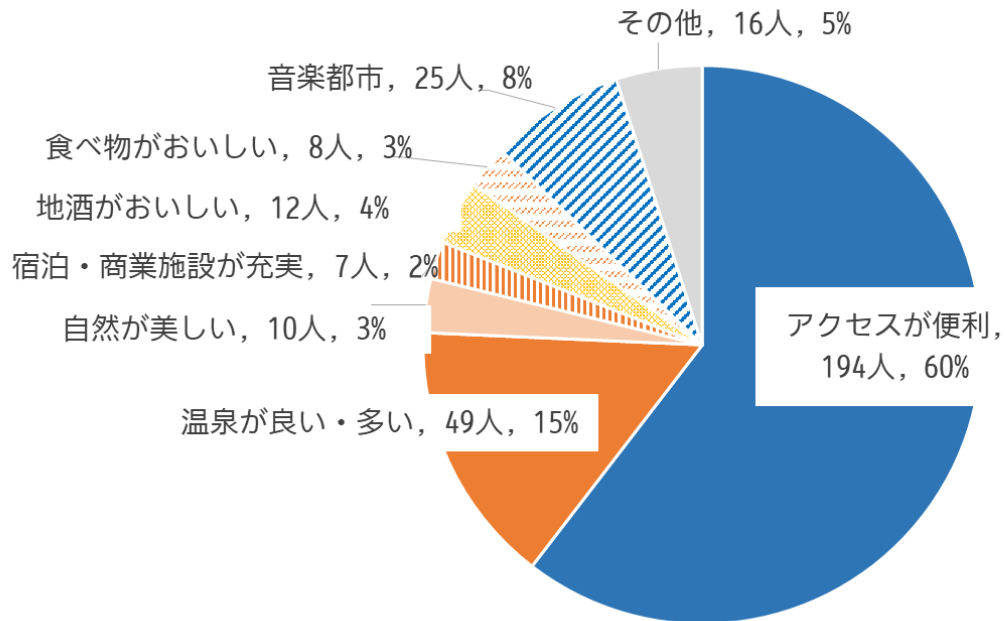
2019年中の観光旅行実数 280人（対回答数 88%）



第2章 本市観光の現状とイメージについて

問5 郡山市の観光地としてのイメージをお選びください。(1つ選択)

①【問5 観光地としてのイメージ】

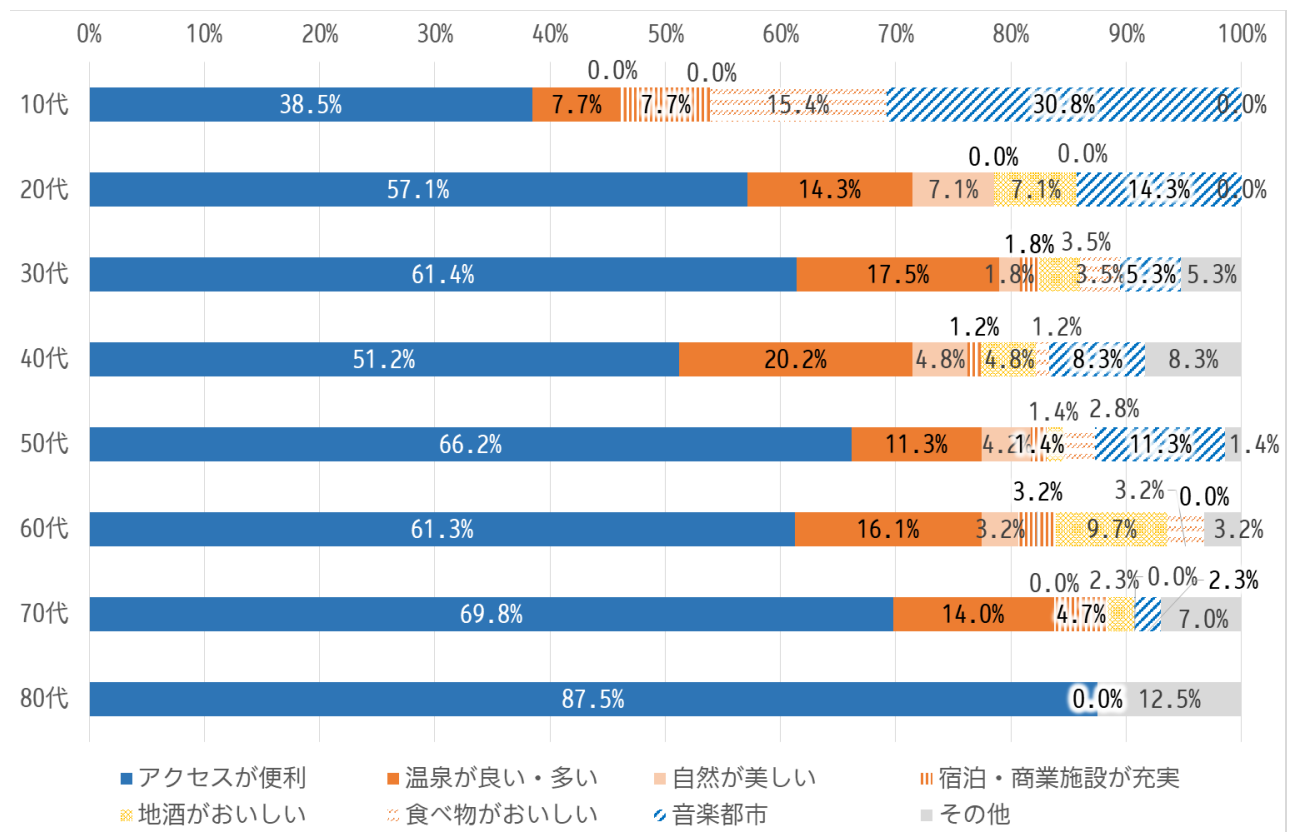


●「その他」の主な内容

・観光地としてのイメージが薄い

②【問5 観光地としてのイメージ×年代別】観光地としてのイメージを年代別に比較

N=360人



③【問5 観光地としてのイメージ×2017調査】2017年調査との順位比較

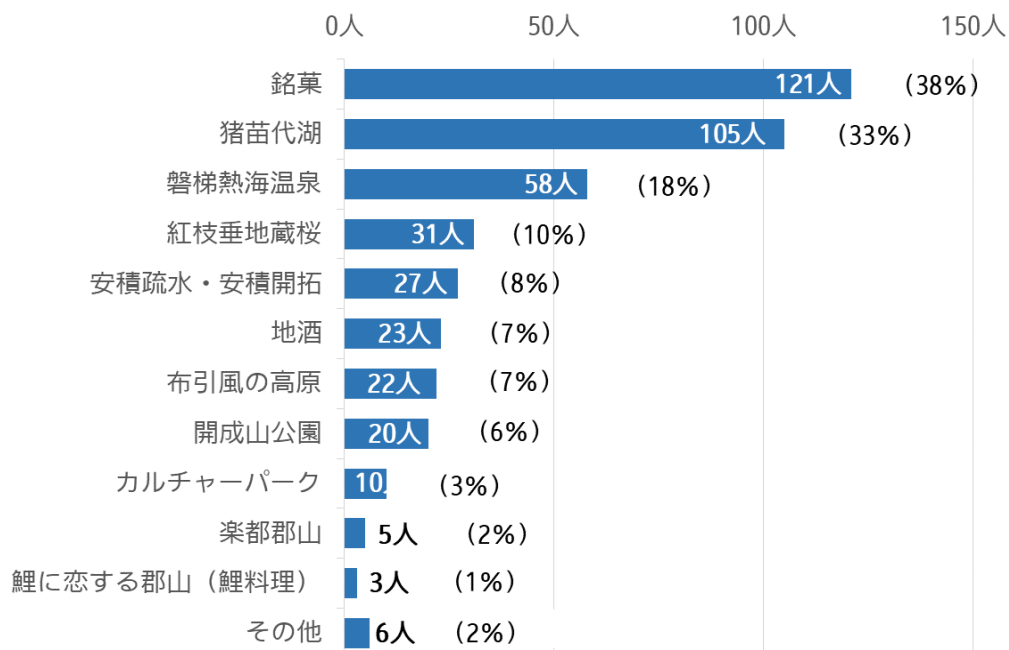
2017年調査		2020年調査	
1	アクセスが便利	1	アクセスが便利
2	音楽都市	2	温泉が良い・多い
3	温泉が良い・多い	3	音楽都市
4	食べ物がおいしい	4	自然が美しい
5	自然が美しい	5	地酒がおいしい
6	宿泊・商業施設が充実	6	食べ物がおいしい
7	地酒がおいしい	7	宿泊・商業施設が充実
8	お土産が豊富	8	お土産が豊富
9	その他	9	その他

- ①本市の都市としてのメリットである「アクセスが便利」が6割を占め、次いで観光目的となる「温泉が良い」「音楽都市」「地酒がおいしい」が続く形となっており、いわゆる観光地のイメージが低い傾向である。
昨今の「マイクロツーリズム」の動きを捉えて、市民が市内観光地を再認識するような働きかけが必要である。
- ②20代から80代それぞれで「アクセスが良い」が50%を超えている。10代では「音楽都市」のイメージも高い。
- ③「自然が美しい」「地酒がおいしい」のイメージが高くなっている。風光明媚な猪苗代湖や、本市が全国でも稀な「ブルワリータウン」であることが両項目のイメージ上昇につながっている。

問6 郡山市の観光地や銘菓等で、市外の方へオススメなものをお選びください。

(複数選択)

①【問6 市外の方へオススメする観光地・物産品等】



●「その他」の主な内容

・石筴ふれあい牧場 ・郡山市ふれあい科学館 等

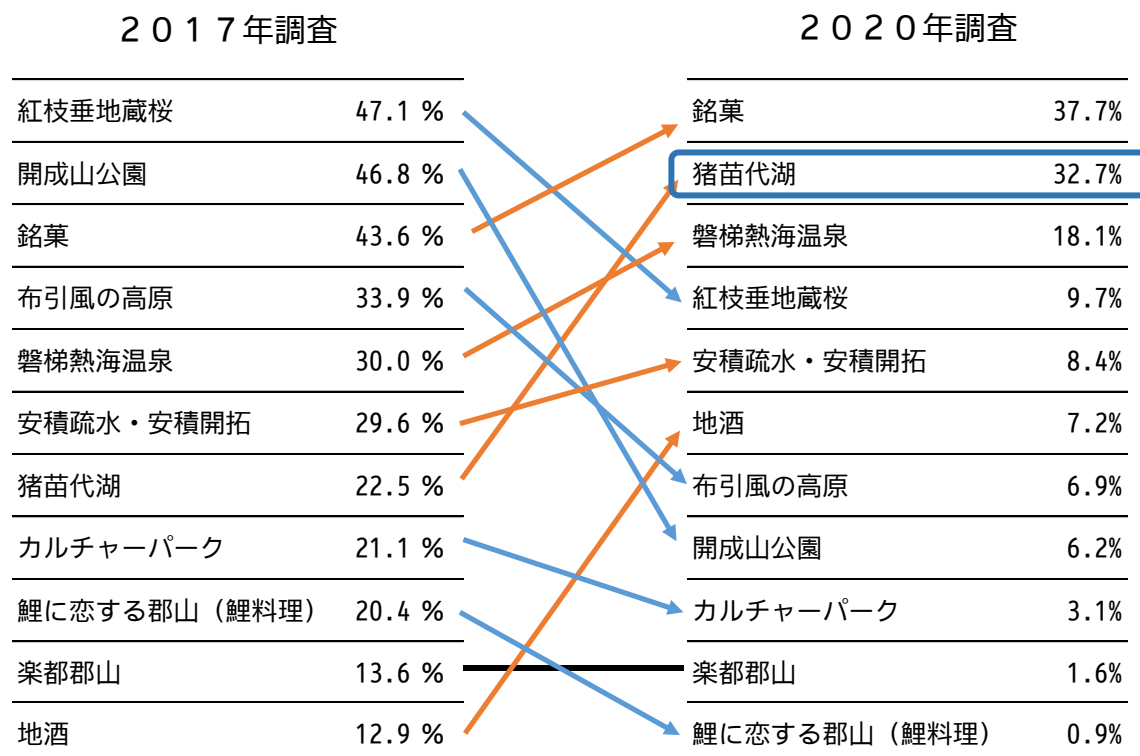
①【問6 市外の方へオススメする観光地・物産品等×年代別】

市外の方へのおススメを年代別に比較

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
銘菓 (ままだおる・薄皮饅頭・家伝ゆべし等)	46%	36%	32%	40%	46%	32%	33%	13%
猪苗代湖		36%	33%	32%	44%	26%	28%	38%
磐梯熱海温泉 (美人を作る湯)		29%	28%	19%	20%	13%	9%	
紅枝垂地蔵桜 (三春滝桜の孫)	8%	14%	19%	7%	8%	3%	7%	13%
安積疏水・安積開拓 (日本遺産に認定された)			2%	5%	6%	19%	23%	25%
地酒 (日本酒、ウイスキー、ワイン等)		14%	7%	8%	8%	10%		13%
布引風の高原 (花畑・風車の絶景地)	8%	21%	7%	6%	7%	3%	7%	
開成山公園 (日本最古の染井吉野)	8%		16%	2%	7%	10%		
カルチャーパーク (低価格で大満足)	15%		7%	5%				
楽都郡山 (音楽都市)	8%			2%	3%			
鯉に恋する郡山 (鯉料理)				4%				
その他	8%		2%	4%		3%		

※「%」は各年代の回答者に占める割合 :30%以上

②【問6 市外の方へ推奨する観光地・物産品等の経年比較】2017年調査と比較

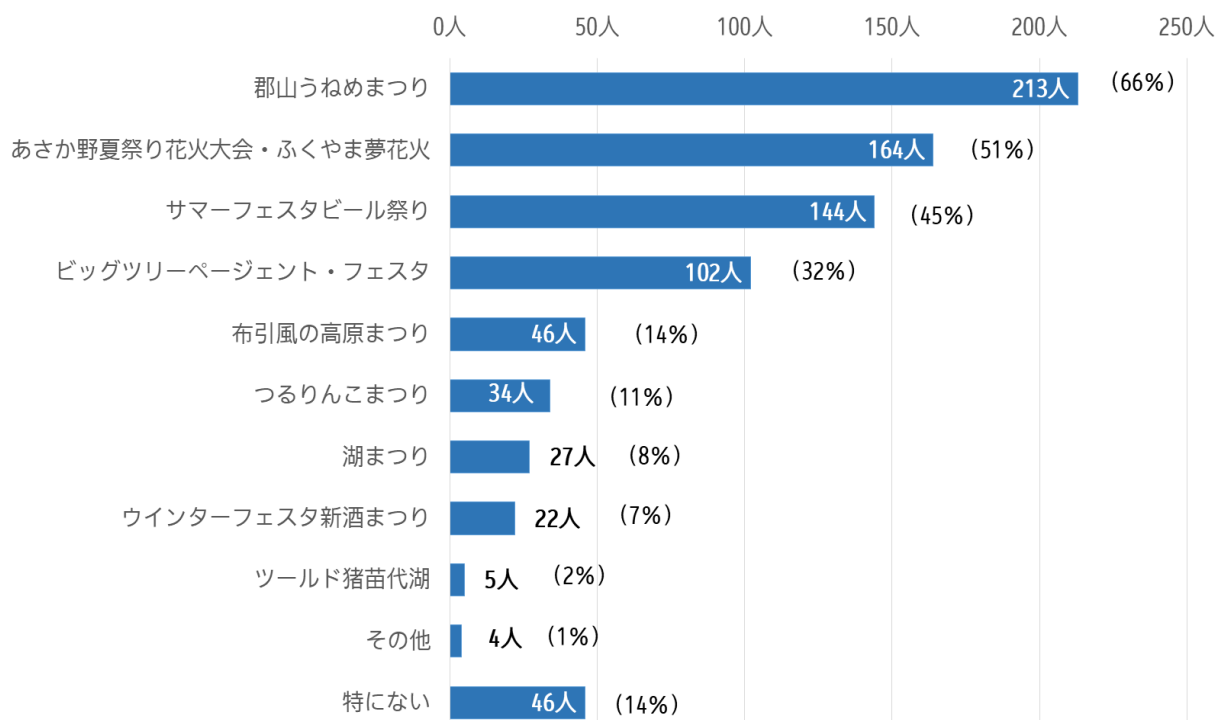


- ①市外の方へのおススメとして「銘菓」「猪苗代湖」が高く、それぞれ回答者の30%以上である。
- ②10代から70代それぞれで「銘菓」が30%以上であり、20代から50代及び80代で「猪苗代湖」が30%を超えている。
- ③「猪苗代湖」は2017年調査時に比して、順位を上げるとともに、パーセンテージも上昇しており、観光資源として更なる磨き上げにより誘客が期待できる。

問 7 郡山市の主なイベントで行った（参加した）ことがあるものをお選びください。

（複数選択可）

①【問 7 参加したことがあるイベント】



● 「その他」の主な内容

・郡山シティーマラソン ・安積国造神社秋季例大祭 等

③【問 7 参加したことがあるイベント×年代別】参加イベントを年代別で比較

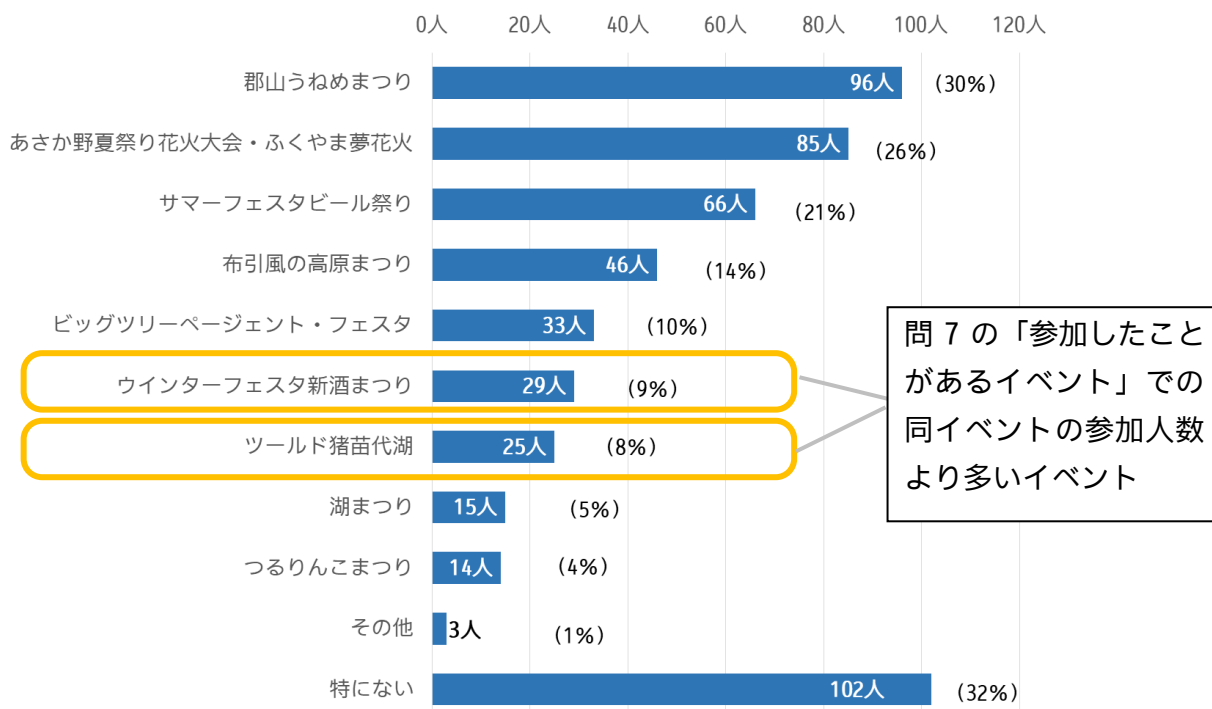
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	女性	男性
郡山うねめまつり	85%	86%	65%	64%	63%	65%	70%	50%	66%	67%	66%
あさか野夏祭り花火大会・ふくやま夢花火	54%	43%	63%	57%	51%	29%	47%	25%	51%	56%	46%
サマーフェスタビール祭り		36%	58%	42%	49%	35%	49%	50%	45%	40%	50%
ビッグツリーページェント・フェスタ	23%	29%	39%	33%	41%	29%	16%		32%	36%	28%
布引風の高原まつり	8%	14%	14%	12%	10%	13%	30%	13%	14%	12%	17%
つるりんこまつり	15%	29%	4%	14%	14%	10%	2%		11%	14%	7%
湖まつり			7%	14%	11%	6%	2%		8%	8%	9%
ウインターフェスタ新酒まつり			7%	4%	11%	10%	9%		7%	4%	11%
ツールド猪苗代湖			5%			3%			2%	2%	1%
その他					1%	6%			1%	2%	1%
特になし	15%	7%	12%	7%	20%	19%	16%	38%	14%	12%	16%

※ 「%」は各年代の回答者に占める割合 :50%以上 :30%以上

- ① 「うねめまつり」は回答者の2/3が参加、観覧、また「花火大会」も半分以上が観覧したことがある。
- ② 「うねめまつり」全年代とも半分以上の回答者が参加・観覧をしており、特に10代、20代は8割を超えている。また、「花火大会」も10代、30代、40代、50代で50%以上の回答者が観覧したことがある。

問 8 郡山市の主なイベントのうち、市外の方へオススメしているもの、したいものをお選びください。(複数選択可)

①【問 8 市外の方へ推奨するイベント×問 7 参加イベント】



●「その他」の主な内容

・安積国造神社秋季例大祭 等

②【問 8 市外の方へ推奨するイベント×年代別×問 7 イベント参加】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計	女性	男性
郡山うねめまつり	62%	36%	37%	24%	31%	23%	28%	13%	30%	26%	34%
あさか野夏祭り花火大会・ふくやま夢花火	8%	29%	40%	30%	24%	23%	19%		26%	31%	22%
サマーフェスタビール祭り	8%	14%	28%	18%	21%	23%	16%	38%	21%	15%	26%
布引風の高原まつり	8%	14%	7%	8%	13%	26%	35%		14%	12%	16%
ビッグツリーページェント・フェスタ	15%	14%	11%	12%	11%	3%	9%		10%	11%	10%
ウインターフェスタ新酒まつり			7%	6%	13%	19%	9%	13%	9%	7%	11%
ツールド猪苗代湖	8%		12%	11%	6%	10%	2%		8%	8%	7%
湖まつり			2%	7%	6%	3%	7%		5%	5%	5%
つるりんこまつり	15%	7%	4%	5%	4%	6%			4%	8%	
その他				1%		3%	2%		1%	1%	1%
特にない	23%	36%	25%	31%	32%	39%	35%	50%	32%	33%	31%

※「%」は各年代の回答者に占める割合 :50%以上 :30%以上
問 7「イベント参加」の各年代の回答者割合よりも多い

①②「特にない」の回答が最も多く、イベントでは「うねめまつり」「花火大会」の推奨多いが、問 7 の参加等人数に比して半分程度となっている。問 7 の人数との比較において、「新酒まつり」「ツールド猪苗代湖」が増加しており「布引風の高原祭り」が同数となっている。問 6 の「推奨したい観光地等」での「猪苗代湖」「地酒」への関心と同様の傾向。

問 9 東日本大震災から 10 年が経ちますが、最近 1 年以内に、本市の観光に関して風評等の影響を受けていると感じたことがあれば教えてください。(自由記述)

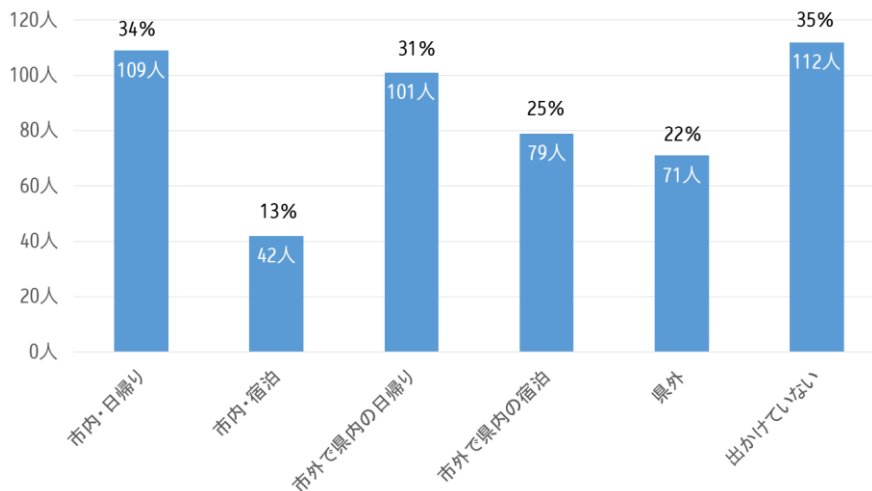
関西の知り合いが、福島の商品は不安だから食べないと言った時。何も知らない癖に妙に腹が立った。	(20代 ・ 男性)
福島県産が他県であまり見ない	(30代 ・ 男性)
以前に比べて最近では風評被害を感じることはほぼ無くなった。	(30代 ・ 男性)
震災後、毎月、全国海外へ自費ボランティアで行き、東北・福島県・郡山市の観光案内パンフ・ポスター・銘酒物産持参し勧誘していますが、まだまだ風評あり、安心安全を説明しています。	(30代 ・ 男性)
自然の原木椎茸を生産できないし食べることもできない	(40代 ・ 女性)
風評はかなり減った印象	(40代 ・ 男性)
知人から、福島県の野菜は購入したくないときいた	(40代 ・ 女性)
海産物が原発の影響で汚染されていると聞いた事があります。	(40代 ・ 女性)
いまだに原発事故のことが話題になる。	(50代 ・ 男性)
海外では、いまだに拒絶されている国がある。(輸出できない)	(50代 ・ 男性)
特に桃など、果物は送らないで欲しいと言われた。	(60代 ・ 女性)
福島の肉牛の価格が安いと聞いた	(60代 ・ 男性)
風評等の影響について聞いたことはない	(60代 ・ 男性)
農家もしていますがまだまだ福島県の農産物の風評被害が、払拭できていない。	(60代 ・ 男性)
お米がおいしいのに、販売価格が低く、お弁当用として買ったたかれてしまうと聞いたことがある。	(60代 ・ 女性)
風評(事実ではない噂)ではありません。私費購入の線量計で数値が出ている事実があります。	(60代 ・ 男性)
県外の知人に地酒と地元の果物をお土産として持参した際、迷惑そうな雰囲気を感じた。	(60代 ・ 女性)
風評被害は聞いたことが無い	(70代 ・ 男性)
米の購買先が、価格が上がらずいつまでたっても業務用向けだけに人気。	(70代 ・ 男性)
知る範囲では影響は受けていないと思う	(70代 ・ 男性)
風評でなく、現実に放射能禍の影響が残っている。実際のことを「風評」と表現するのは止めて欲しい。	(70代 ・ 女性)
東北に来たがらない 福島県産の果物をやさしく断られた	(70代 ・ 男性)

第3章 コロナの影響による旅行趣向の変化等について

問12 あなたは、2020年3月以降、どのような観光旅行に出かけましたか？

(該当区分をすべて選択)

①【問12 2020年の観光旅行】



②【問12 2020年観光旅行× 問4 2019年観光旅行との比較】

2019年	2020年※	対2019年比
280人	228人	82%

※【問4】は2019年1月から12月、【問12】は2020年3月～翌年1月の11月間であるため、2020年は回答値である209人に2020年月平均数19人を1か月分としてプラスしている。

③【問12 2020年観光旅行× 年代別】観光旅行種別ごとを年代別で比較

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
市内・日帰り	23%	36%	37%	37%	41%	32%	16%	38%
市内・宿泊		14%	19%	12%	13%	10%	16%	
市外で県内の日帰り		43%	39%	31%	34%	42%	21%	13%
市外で県内の宿泊	8%	29%	39%	20%	17%	16%	40%	13%
県外	38%	21%	21%	19%	24%	19%	23%	25%
出かけていない	38%	36%	28%	38%	37%	29%	40%	25%

※「%」は各年代の回答者に占める割合 :30%以上

①新型コロナウイルス感染症の影響下における観光旅行については、「出かけていない」が全体の1/3を超えて最も多い。旅行の種別としては「市内の日帰り旅行」が最も多く、宿泊する場合は「市外で県内の宿泊」が多かった。

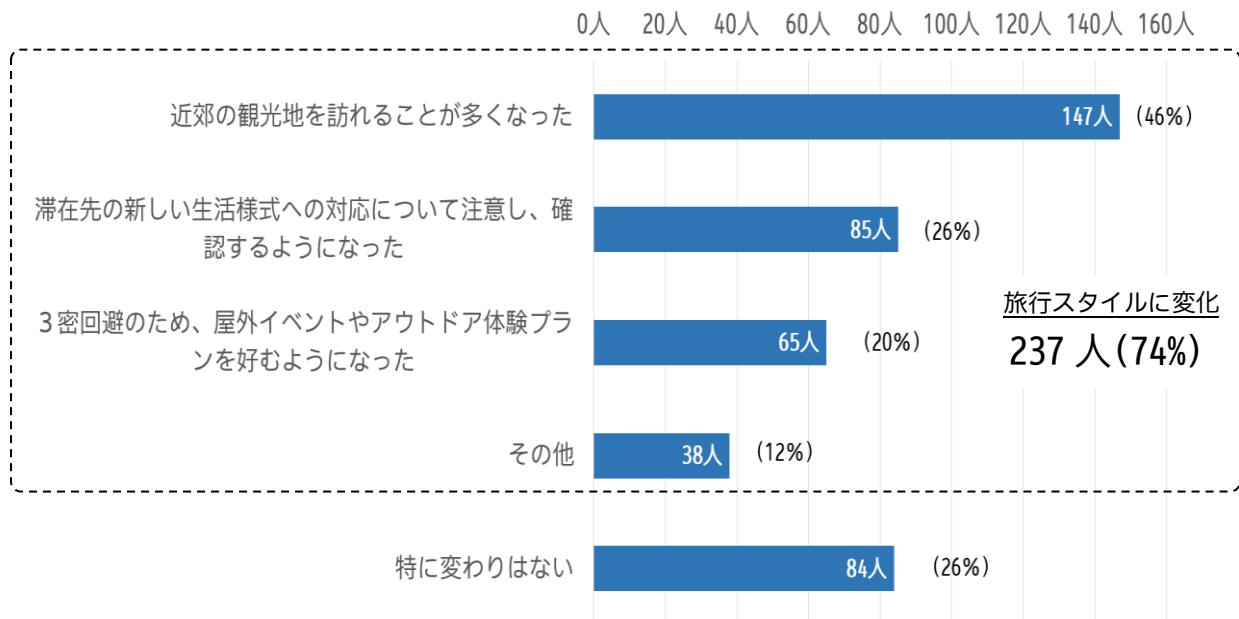
②【問4】の「昨年、観光旅行したことがある人数」に比べて2割程度減少している。

③「市内」・「市外で県内」の「日帰り旅行」は20代から60代まで、それぞれ30%を超えている。そのうち、40代・50代では「市内」のほうが多い。

問 13 新型コロナウイルス感染症の影響により、マイクロツーリズム（※）が注目されてきておりますが、あなたの旅行スタイルの変化についてお伺いします。（複数選択可）

※マイクロツーリズムとは、比較的近郊の観光を楽しむこと

①【問 13 新型コロナウイルス感染症の旅行スタイルへの影響】



● 「その他」の主な内容

・旅行をしなくなった。

②【問 13 新型コロナウイルス感染症の旅行スタイルへの影響 ×年代別】
旅行スタイルの変化を年代別で比較

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
近郊の観光地を訪れることが多くなった	38%	64%	67%	43%	37%	35%	49%	10%
滞在先の新しい生活様式への対応について注意し、確認するようになった	31%	21%	35%	19%	24%	29%	35%	10%
3密回避のため、屋外イベントやアウトドア体験プランを好むようになった	8%	14%	28%	20%	17%	32%	14%	10%
その他	8%	14%	9%	8%	13%	16%	14%	30%
特に変わりはない	38%	14%	18%	33%	28%	19%	21%	40%

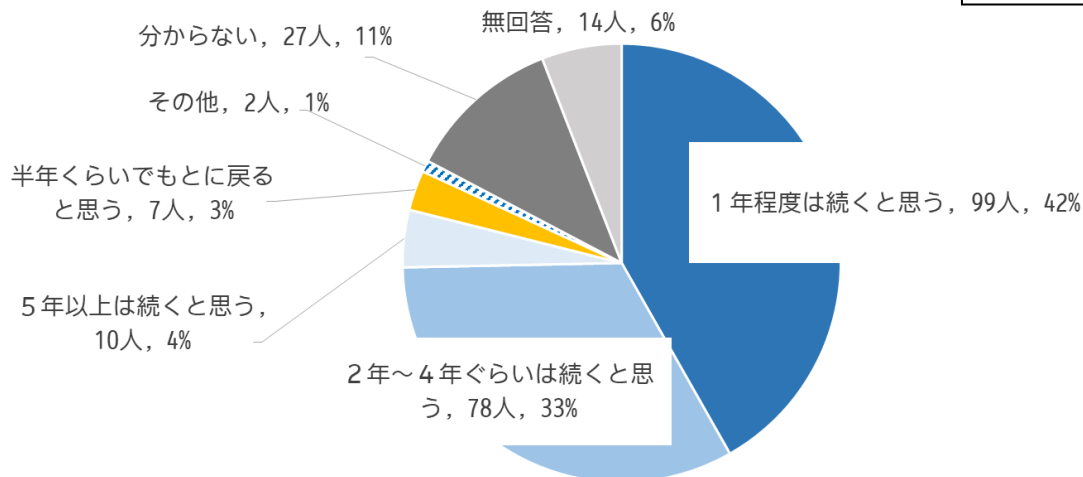
※「%」は各年代の回答者に占める割合 :50%以上 :30%以上

①新型コロナウイルス感染症の影響により、「旅行スタイルが変化した人」は全体の74%であった。「旅行スタイルに変化があった方(237人)」のうち「近郊の観光地を訪ねることが多くなった」が62%となっており、「マイクロツーリズム」志向となっている。
②年代別では10代~70代で30%以上の方が「近郊の観光地を訪れることが多くなった」としており、特に20代・30代では60%以上となっている。

問 14 問 13 で「近郊の観光地を訪れることが多くなった」、「3密回避のため、屋外イベントやアウトドア体験プランを好むようになった」、「滞在先の新しい様式への対応について注意し、確認するようになった」、「その他」を選択し、旅行スタイルが変わったと回答した方にお伺いします。今後も、その旅行スタイルは続くと考えますか？（1つ選択）

①【問 14 旅行スタイルの変化の今後予測】

n=237

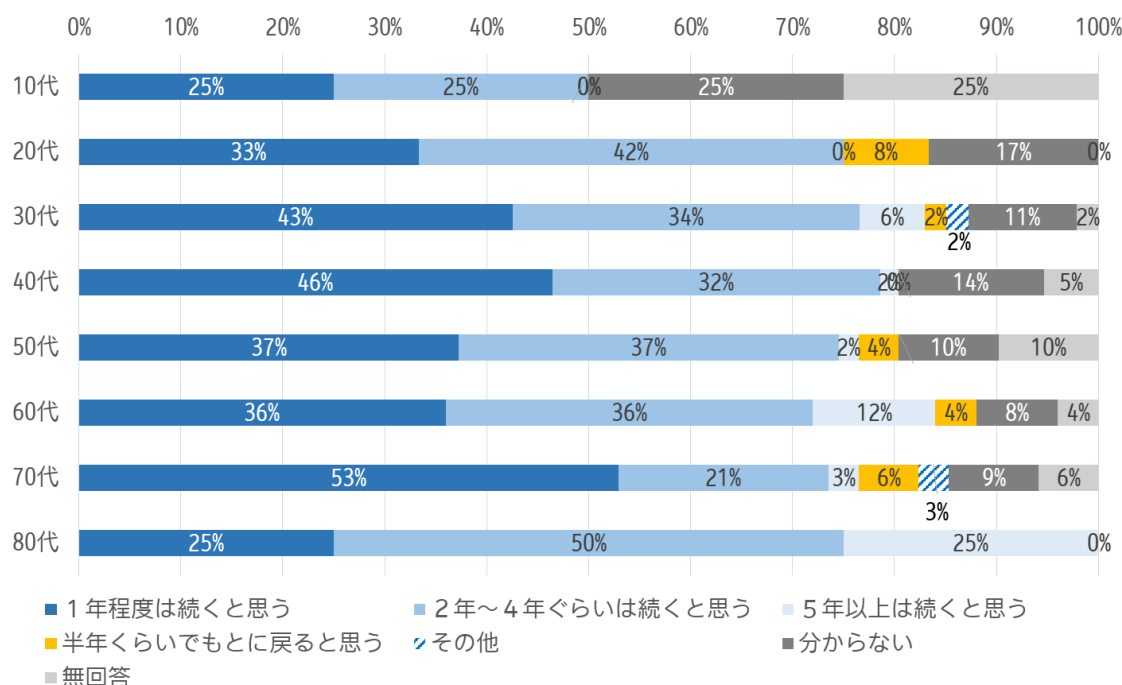


●「その他」の主な内容

・新型コロナウイルス感染症の流行が収まるまで

①【問 14 旅行スタイルの変化の今後予測×年代別】

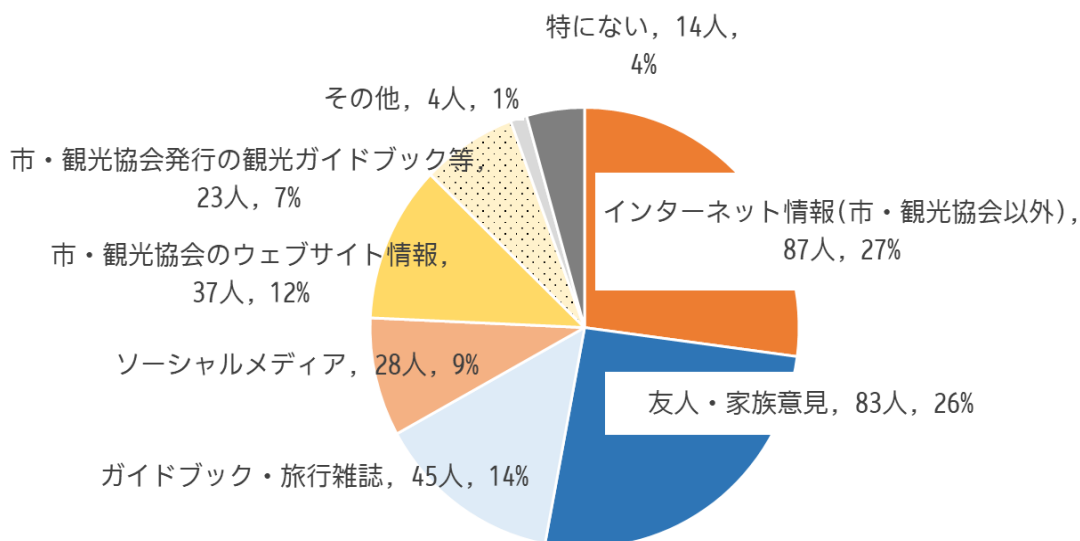
旅行スタイル変化の今後についての予測を年代別に比較



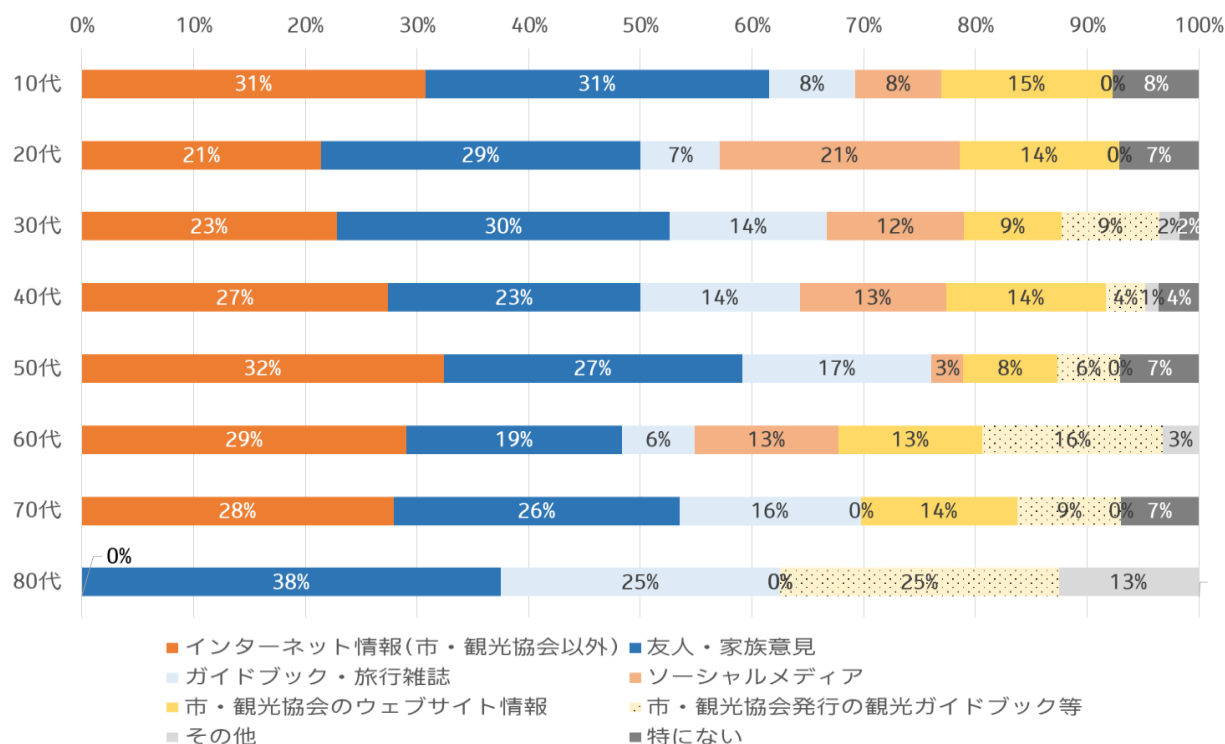
- ① 「旅行スタイルの変化の今後予測について「1年程度」が42%で最も多く、8割近くの方が1年以上続くと考えている。
- ② 年代別では20代～60代で30%以上の方が「1年程度」又は「2～4年程度」としている。

問 15 あなたが比較的近郊の旅行先を選ぶ場合、一番参考にした（する）ものは何ですか？（1つ選択）

①【問 15 近郊旅行先の情報収集】



②【問 15 近郊旅行先の情報収集 × 年代別】

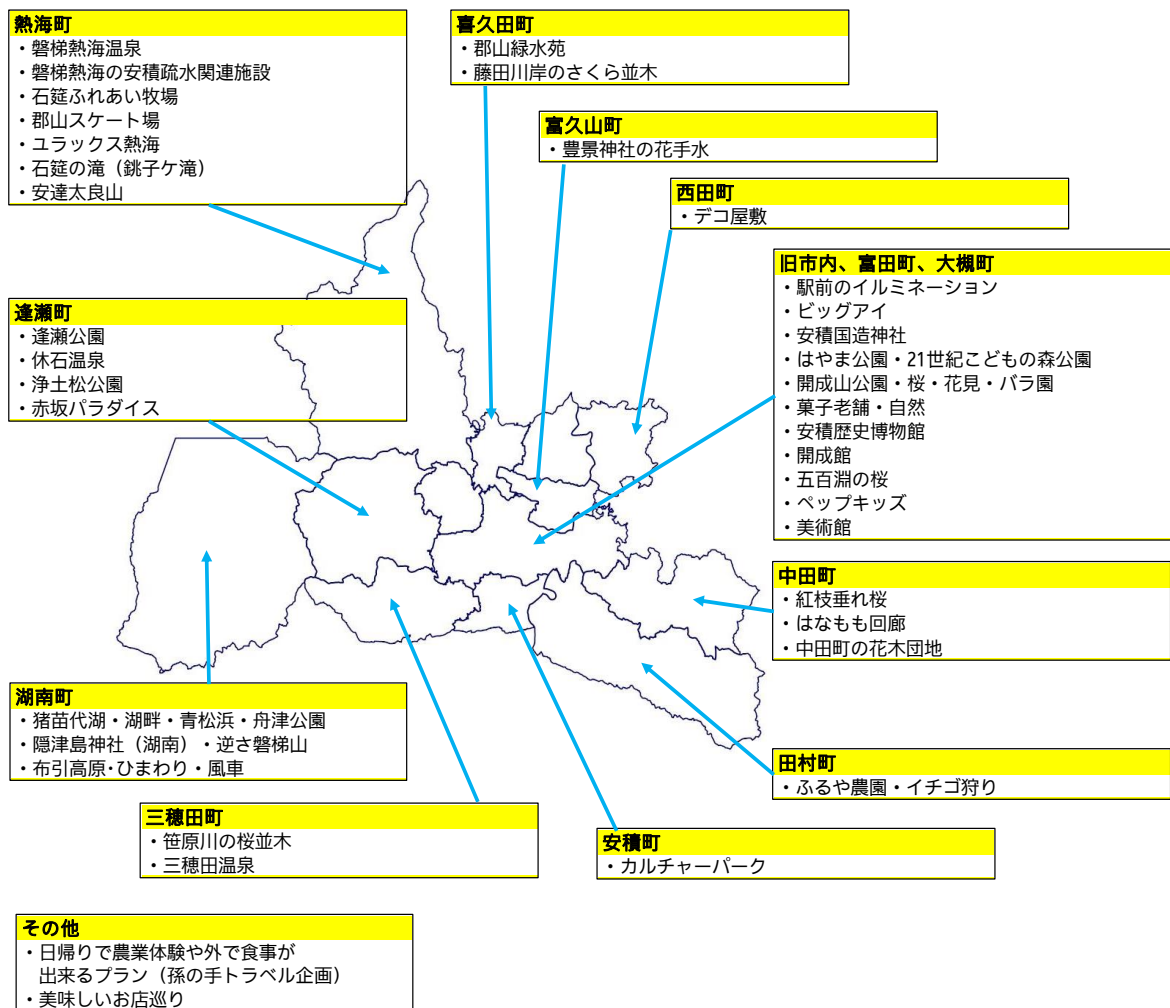


① 「インターネット情報(市・観光協会以外)」、「友人・家族意見」が多い。

「インターネット」「ソーシャルメディア」「市・観光協会のウェブ」のデジタルによる情報収集は53%となっている。「市・観光協会」提供情報の利用者は全体の約20%であり、更に活用いただくための工夫が必要である。

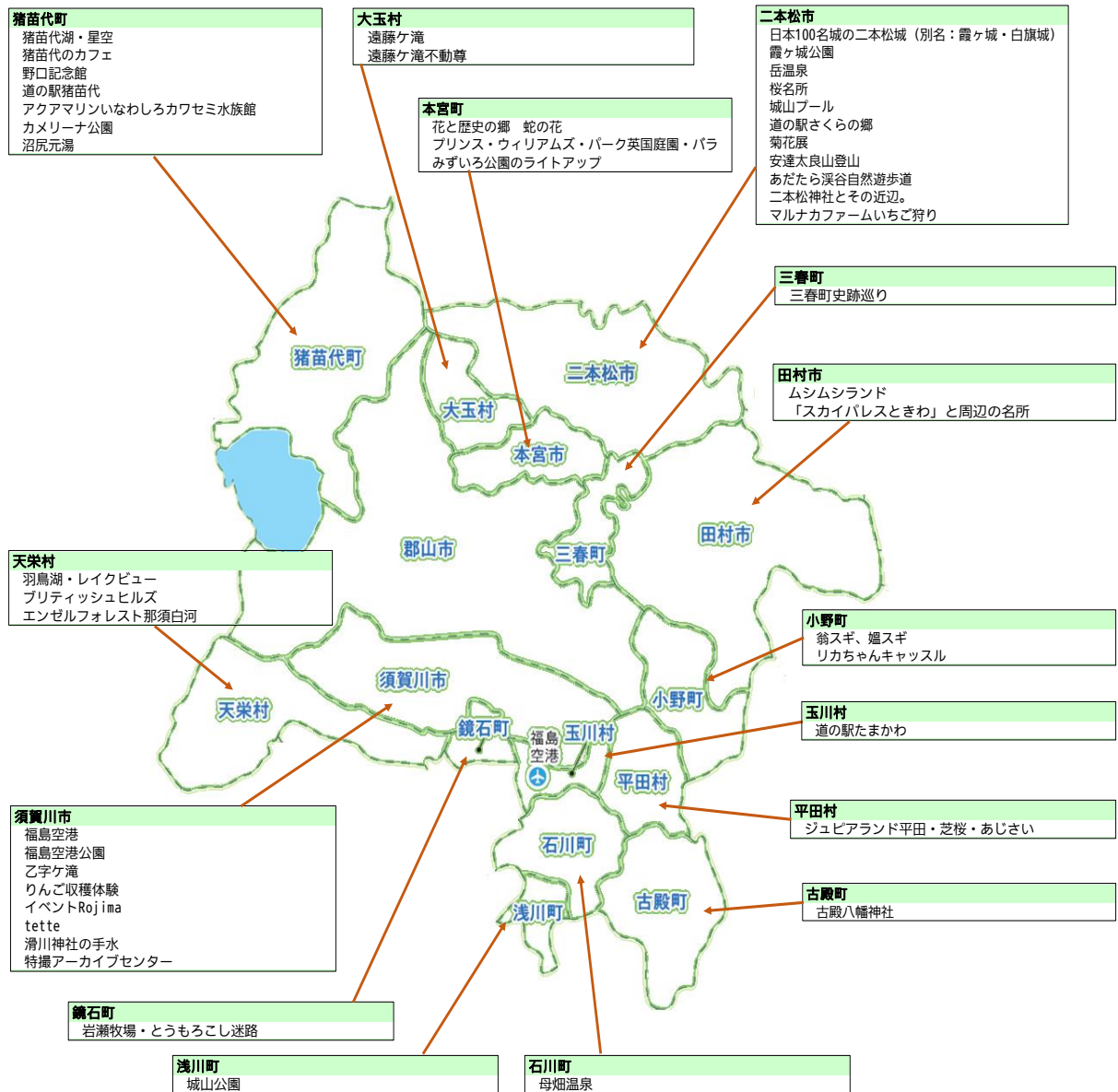
②年代別では、10代から70代で、それぞれ「デジタルによる情報収集」が40%を超え、特に20代、40代、60代では50%を超えている。

問 16 昨年、市内の観光地に行った方にお伺いします。その中で、一番良かった場所、スポットはどこですか？（自由記述）



問 17 昨年、こおりやま広域圏内（※）の観光地に行った方にお伺いします。昨年中、郡山市以外の広域圏内で一番良かった場所、スポットはどこですか？（自由記述）

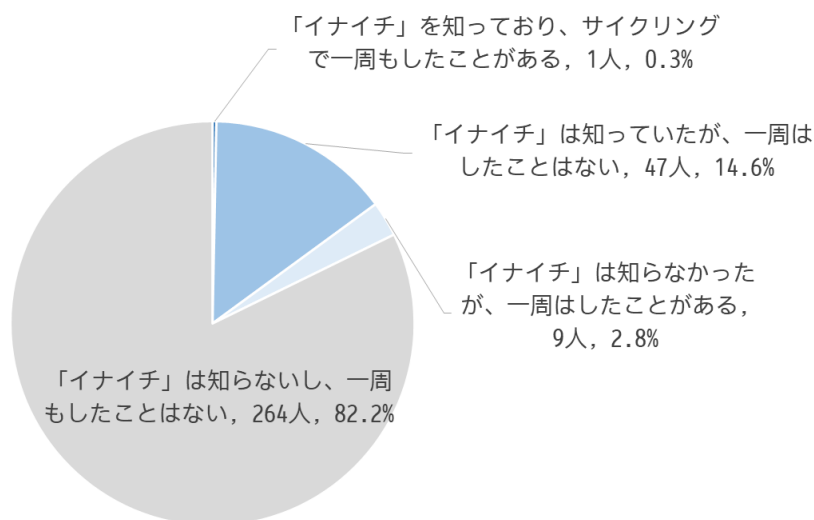
※こおりやま広域圏とは、郡山市、二本松市、大玉村、本宮市、猪苗代町、三春町、田村市、小野町、平田村、玉川村、須賀川市、天栄村、鏡石町、石川町、浅川町、古殿町の16市町村で構成されるエリアを示します。



第4章 屋外アクティビティに注目した観光資源開発について

問 18 サイクリングで猪苗代湖を一周することは「イナイチ」と呼ばれていますが、この言葉をご存じですか？また、「イナイチ」を経験したことありますか？（1つ選択）

①【問 18 「イナイチ」知名度】



「猪苗代湖一周サイクリング」

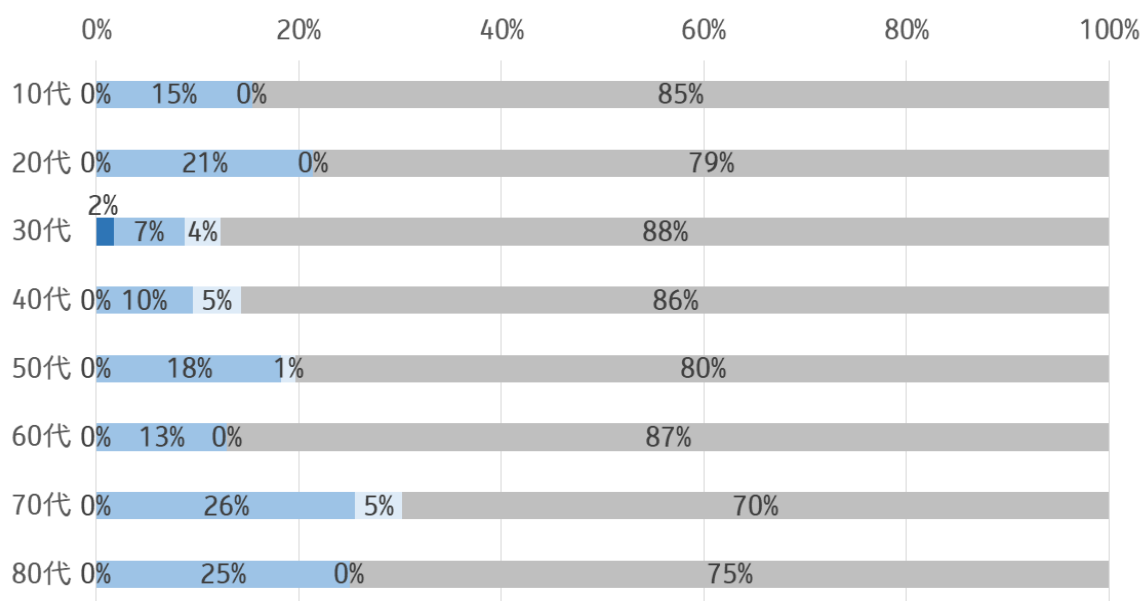
体験済み

10人(3.1%)

「イナイチ」認知

48人(14.9%)

②【問 18 「イナイチ」知名度 × 年代別】「イナイチ」の知名度を年代別に比較



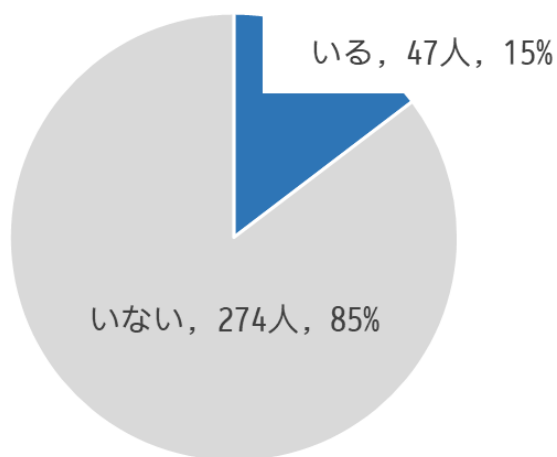
- 「イナイチ」を知っており、サイクリングで一周もしたことがある
- 「イナイチ」は知っているが、一周はしたことはない
- 「イナイチ」は知らなかったが、一周はしたことがある
- 「イナイチ」は知らないし、一周もしたことはない

①「猪苗代湖一周サイクリングを体験した」又は「『イナイチ』を認知」している人は全体の17%である。

②年代別での「体験」又は「認知」している人は、70代が30%を超えるものの、他世代では20%台にとどまっている。

問 19 昨年から職場・学校の人や友人などあなたの周りで、専門的な自転車（ロードバイク、クロスバイク）を購入し、サイクリングを趣味にし始めた方はいらっしゃいますか？（1つ選択）

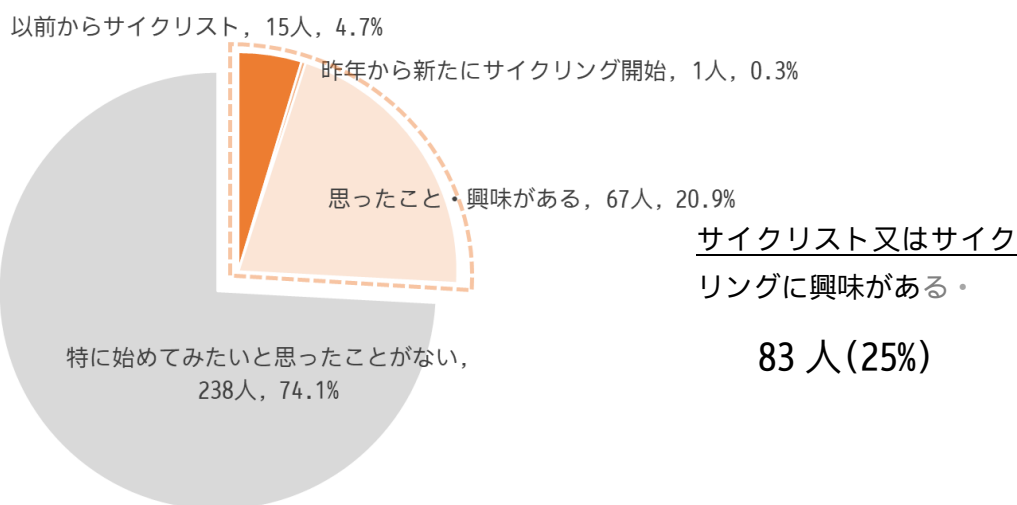
②【問 19 友人等の「サイクリング」への興味】



問 20 あなたは、昨年以降、サイクリングに興味が出る、始めてみたいと思ったことはありましたか？

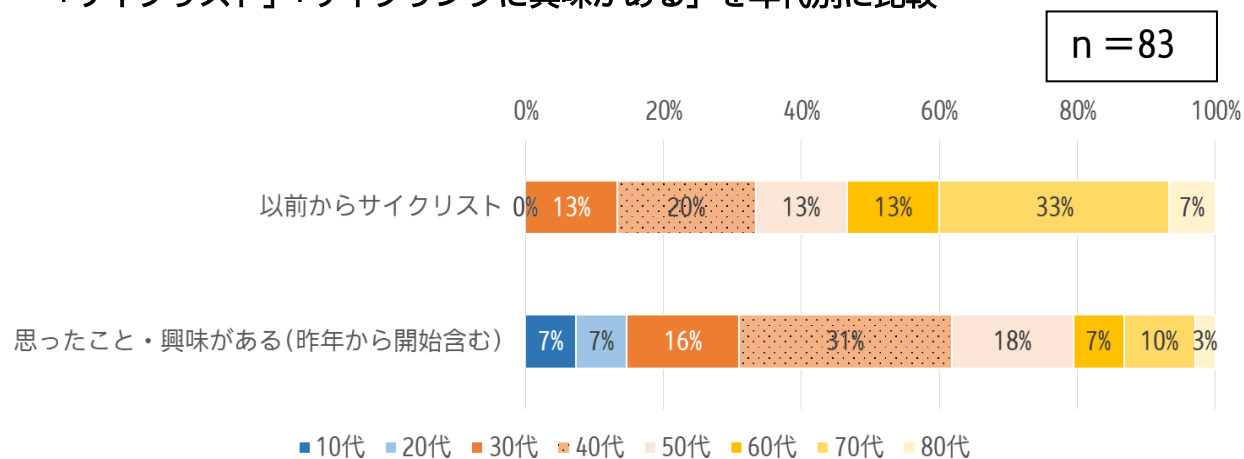
（1つ選択）

①【問 20 「サイクリング」への興味】



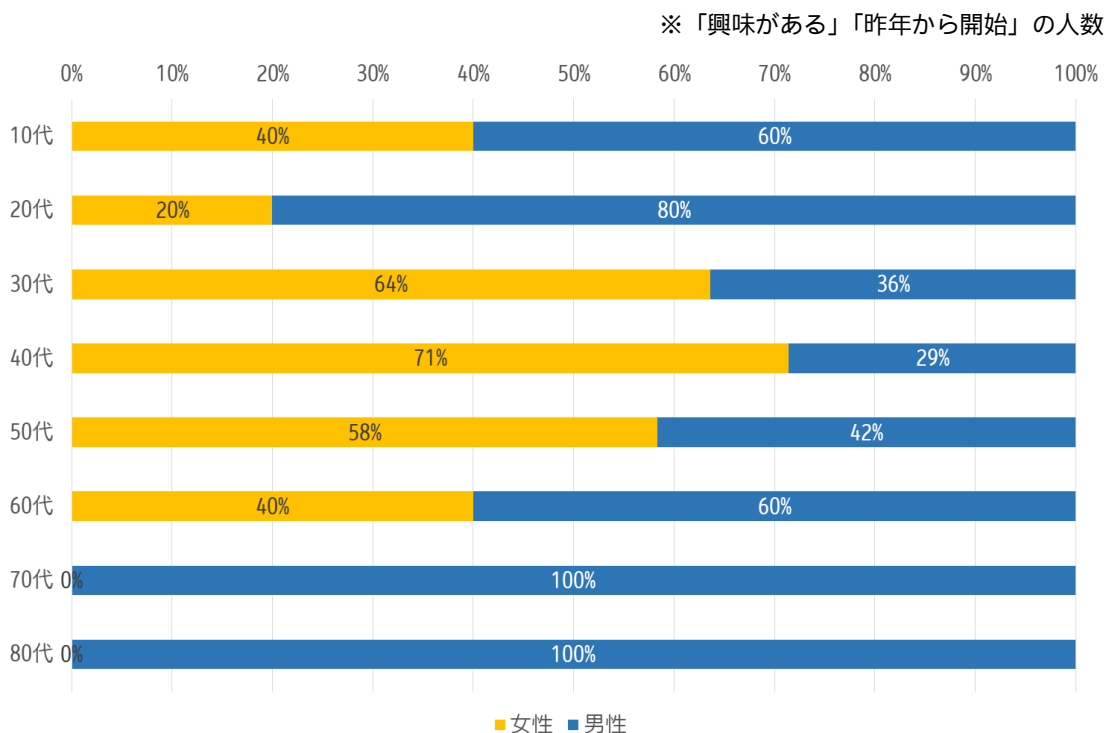
②【問 20 「サイクリング」への興味×年代別】

「サイクリスト」「サイクリングに興味がある」を年代別に比較



③ 【問 20 「サイクリング」への興味×年代別×性別】
「サイクリングに興味がある」を年代別・性別に比較

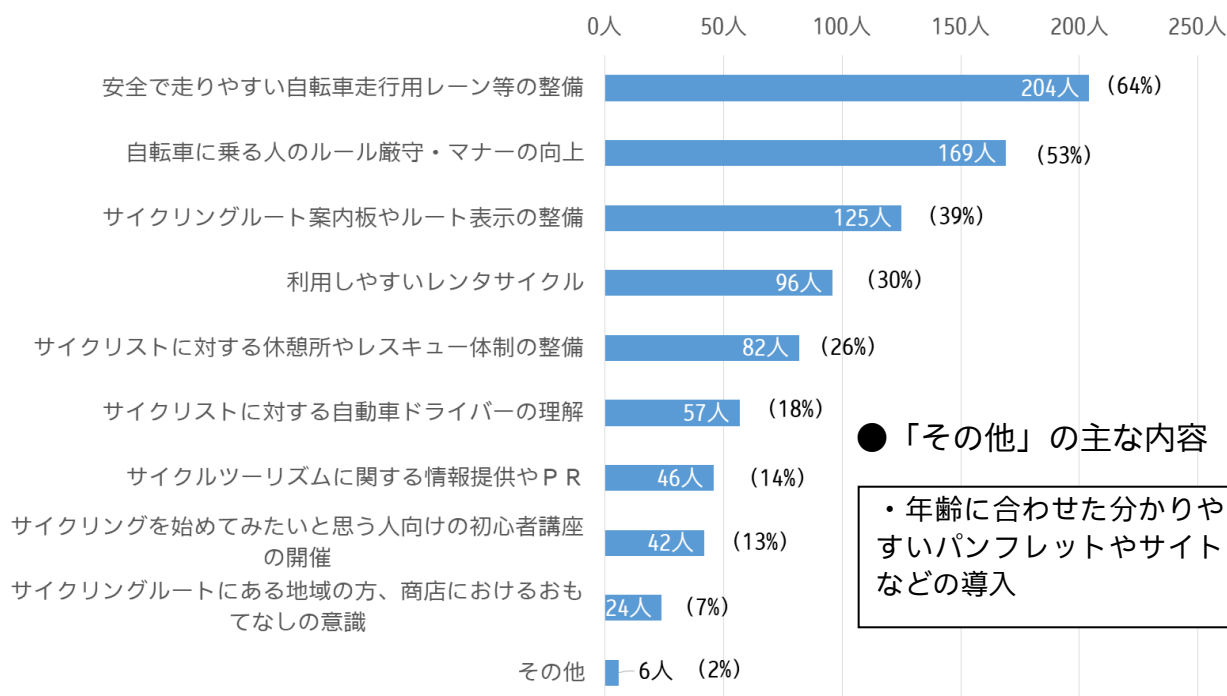
n = 68



- ① 「サイクリスト」「サイクリングを昨年開始」「サイクリングに興味がある」人は全体の1/4である。その内、8割程度が、昨年以降興味を持ち始めている。
- ② 「サイクリングに興味がある」人のうち、40代では30%を超えている。
- ③ 「サイクリングに興味がある」のうち、30代・40代・50代ではそれぞれ女性が半数以上であり、特に40代では、女性が70%を超えている。

問 21 観光振興のため、サイクリングによる猪苗代湖一周をより多くの方が楽しんでいただくために、特に重要であると考えられることはどんなことと思いますか？（3つまで選択）

① 【問 21 「サイクリング」による誘客での重要項目】



② 【問 21 「サイクリング」による誘客での重要項目×サイクリスト又はサイクリングに興味がある】【問 20】の「サイクリスト」又は「サイクリングに興味がある（昨年開始）」を抽出し重要項目を比較

n = 83

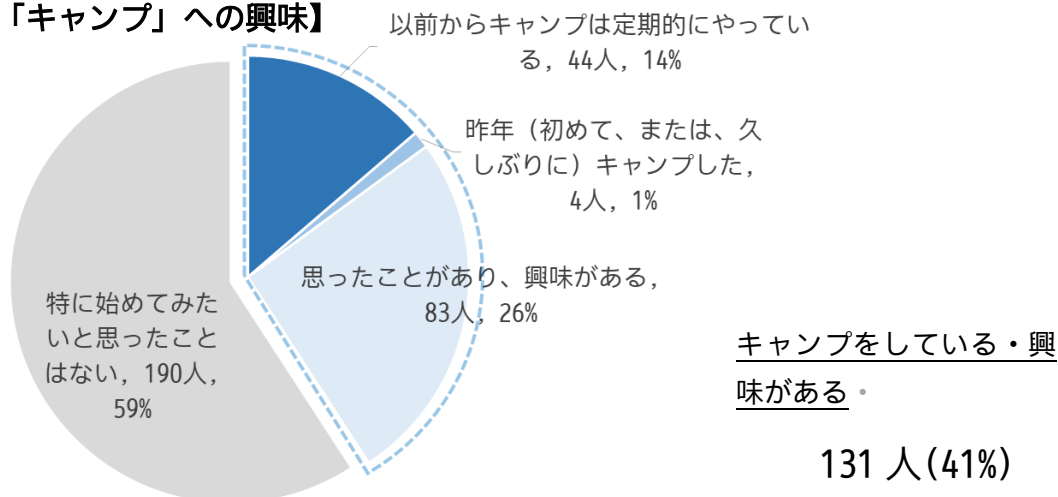
	以前からサイクリスト	思ったこと・興味がある (昨年開始含む)
安全で走りやすい自転車走行用レーン等の整備	73%	74%
自転車に乗る人のルール厳守・マナーの向上	53%	56%
サイクリングルート案内板やルート表示の整備	53%	46%
サイクリストに対する自動車ドライバーの理解	40%	21%
サイクリングを始めてみたいと思う人向けの初心者講座の開催	40%	13%
サイクリストに対する休憩所やレスキュー体制の整備	33%	22%
利用しやすいレンタサイクル	27%	32%
サイクルツーリズムに関する情報提供やPR	20%	9%
サイクリングルートにある地域の方、商店におけるおもてなしの意識	13%	3%

※ 「%」は各年代の回答者に占める割合 :50%以上 :30%以上

- ① 「安全で走りやすい自転車走行用レーン等の整備」「自転車に乗る人のルール厳守・マナーの向上」がそれぞれ全体の50%以上を超えている。
- ② 「安全で走りやすい自転車走行用レーン等の整備」は「サイクリスト」「興味がある」ともに70%を超えている。
体験者ならではの回答として「サイクリスト」の30%以上が「自動車ドライバーの理解」「興味がある人への初心者講座」「休憩所・レスキュー体制」が必要と考えている。
「興味がある」方の30%以上が「利用しやすいレンタルサイクル」を必要としている。

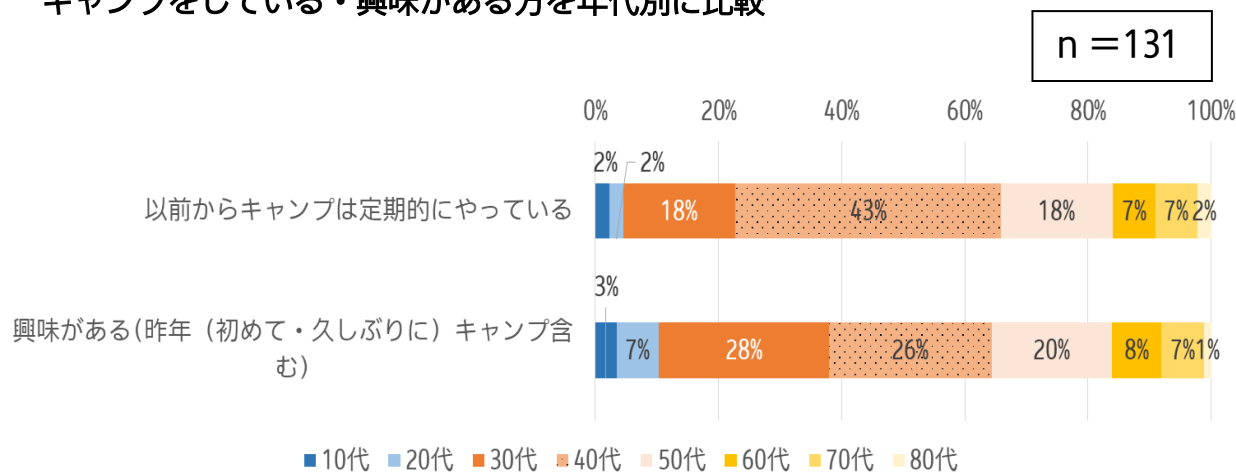
問 22 昨年からキャンプに興味が出てきたり、始めてみたいと思ったことはありましたか。 (1つ選択)

① 【問 22 「キャンプ」 への興味】



② 【問 22 「キャンプ」 への興味×年代別】

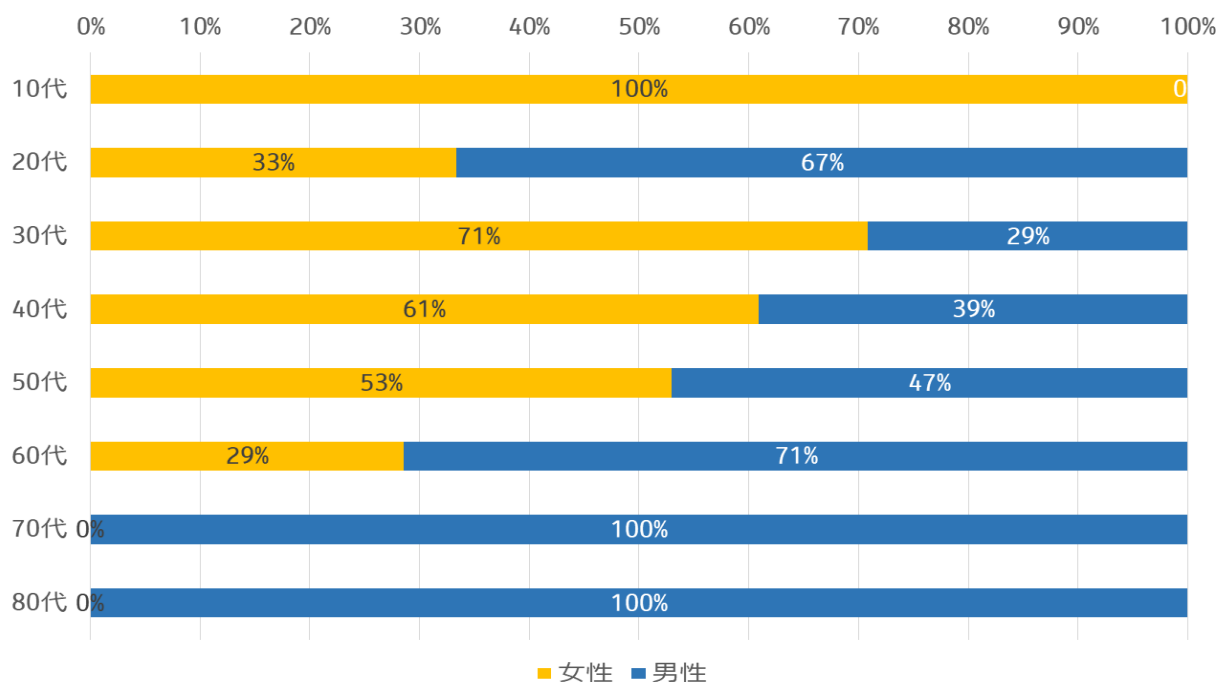
キャンプをしている・興味がある方を年代別に比較



③ 【問 22 「サイクリング」 への興味×年代別×性別】

「キャンプに興味がある」「昨年始めた」を年代別・性別に比較

n = 87

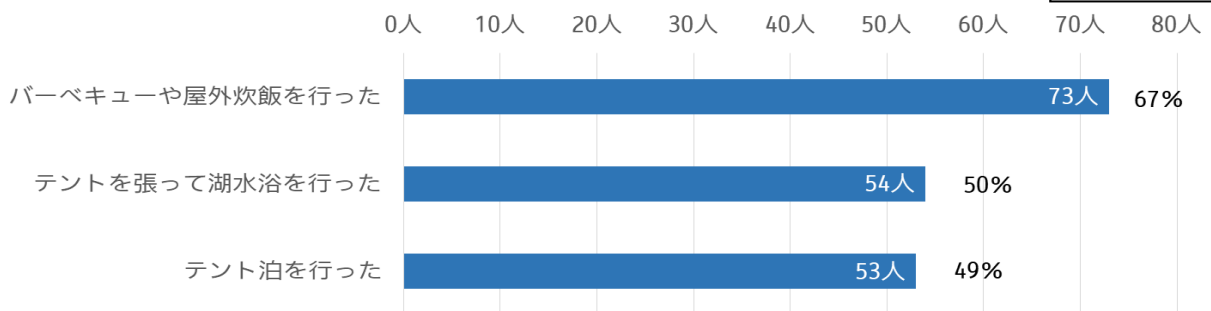


- ① 「定期的にキャンプ」「昨年開始」「興味がある」人は全体の40%を超える。その内、66%程度が、昨年以降興味を持ち始めている。
- ② 「キャンプに興味がある（昨年開始含む）」人のうち、30代・40代・50代では20%を超えている。
- ③ 「サイクリングに興味がある（昨年開始含む）」のうち、30代・40代・50代ではそれぞれ女性が半数以上であり、特に30代では、女性が70%を超えている。

問23 これまで、猪苗代湖岸の「湖南七浜」(*)でキャンプをしたことがある方にお伺いします。主にどのような内容のキャンプでしたか？(複数選択可)

【問23 湖南七浜での「キャンプ」内容】

n = 109



問24 問23に引き続き「湖南七浜」でキャンプをしたことがある方にお伺いします。「湖南七浜」のキャンプ場を利用して良かったところ、悪かったところを教えてください。(自由記述)

●主な良い点

・景観が良い。

磐梯山と猪苗代湖を見ながら楽しめる。夕焼けがきれい。海とは違う良さ。水がきれい

・無料である

無料でトイレと炊事場が使用可。駐車場が無料

・便利

市内から近距離。予約なしでいつでも利用できる。

・環境が良い

静かである。トイレがきれい(場所によって)。地元の方の見守りあり安全 等

●主な課題

・トイレ・炊事場の環境整備

トイレ・炊事場が少なく不衛生。ゴミ捨て場が汚い(持ち帰らない)。設備が不十分

・駐車場

駐車場が少ない。遠い。狭い。湖岸に(無料)駐車場が無い。お盆時期は混雑

・食材や食事を購入する店舗が近くにない

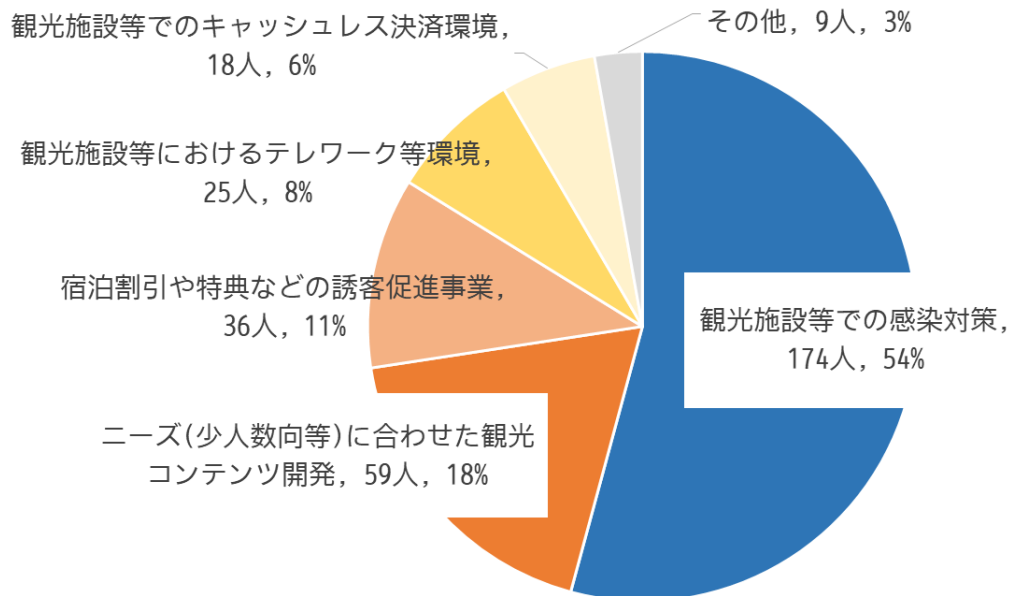
・騒音

夜中に騒ぐ者がいた。管理人がいないので注意する人がいない。

第5章 ウィズコロナの観光施策について

問25 ウィズコロナにおいて進めるべき観光施策として重要であると思われることは何ですか。(1つ選択)

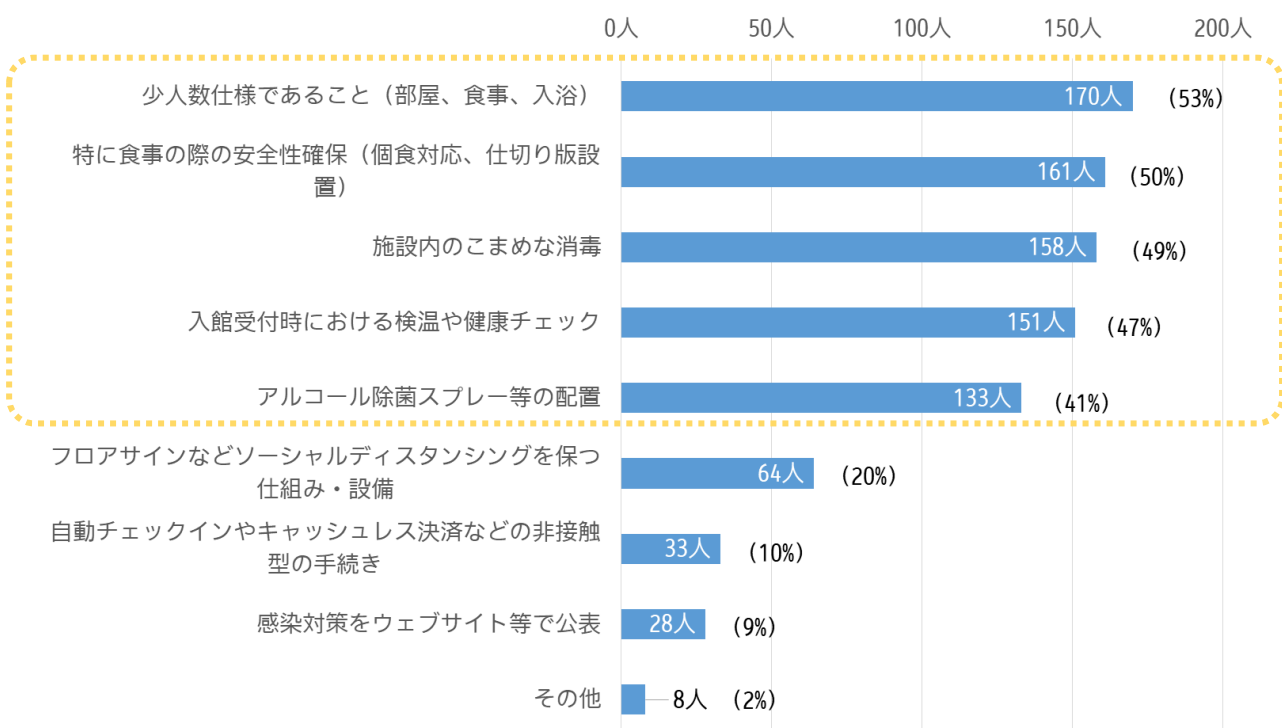
【問25 ウィズコロナにおける観光施策の重要項目】



ウィズコロナにおいて最も重要なことは「感染対策」とする方は半数以上である。また、ウィズコロナという環境の変化に合わせた「観光コンテンツ開発」を重要であると回答した方は全体の約2割である。

問26 あなたが旅行をする際に特に重視する観光地・観光施設の感染対策は何ですか。(3つまで選択)

【問26 旅行で重視する感染対策】



【問 26 旅行で重視する感染対策×年代別】旅行で重視する感染対策を年代別で比較

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
少人数仕様であること（部屋、食事、入浴）	23%	57%	53%	61%	51%	48%	51%	63%
特に食事の際の安全性確保（個食対応、仕切り版設置）	31%	43%	61%	50%	39%	52%	53%	88%
施設内のこまめな消毒	54%	71%	60%	43%	46%	39%	51%	50%
入館受付時における検温や健康チェック	46%	43%	46%	31%	58%	45%	70%	25%
アルコール除菌スプレー等の配置	69%	50%	47%	40%	46%	29%	26%	38%
フロアサインなどソーシャルディスタンスを保つ仕組み・設備	15%	0%	30%	17%	24%	23%	14%	13%
自動チェックインやキャッシュレス決済などの非接触型の手続き	8%	21%	14%	8%	11%	10%	7%	0%
感染対策をウェブサイト等で公表	8%	7%	11%	7%	8%	6%	9%	25%

- ①旅行で最も重視する感染対策は「少人数仕様」であり、続いて「食事における感染対策」で、それぞれ50%を超える。
以下「施設内消毒」「検温・健康チェック」「消毒剤の設置」まで、それぞれ40%を超える。
- ②「少人数仕様」「食事の感染対策」「施設内消毒」「検温・健康チェック」「消毒剤の設置」が、全世代で概ね30%を超えている。
「少人数仕様」は20代から50代及び70代・80代で、それぞれ半数以上である。

問 27 その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

観光地への交通手段が乏しい印象があるので改善してほしい。

(20 代男性、学生)

コロナウイルス禍の中、いかに観光地の安全性と魅力を伝えることが重要だと思う。

(20 代男性、会社員)

市内の観光地へのアクセス方法の提供（レンタカー、バス等のセットプラン）や送迎、駅前の「地元特産・地酒」など特色を出した飲食店を増やし周知できるようにした方がいい。

(30 代女性、会社員)

情報が少なすぎる。もっと詳細な情報をネット掲載してほしい。キャンプ等に関しては、手ぶらで気軽に利用出来るとか、食材が近くで買えたりするといい。

(40 代女性、会社員)

感染症対策の徹底、郡山市内の感染状況がすぐに確認できる事で安心して観光できる。環境や気候、地形等のマイナス面を活かした観光があればおもしろい。

(40 代女性、パート・アルバイト)

観光施策は交流人口拡大に絡め、郡山市や広域圏の特性に合わせたものを推進すべき。ビジネスツーリズム・医療ツーリズムと市内の観光宿泊地・コンベンション等と繋げるとよい。シェアオフィス、会議施設等を誘致で大都市圏からの誘客望みたい。(50 代男性、会社員)

今回の質問で初めて猪苗代湖周遊サイクリングを頭で認識しました。全国のサイクラーに知って欲しいですね。

(50 代女性、会社員)

四季の移り変わりを感じる郡山市の魅力をポスターやインターネットでPR期待しています。

(60 代女性、パート・アルバイト)

郡山市内にもいろいろな観光施設があるが、しっかり維持管理されている所もあれば、作っただけで、維持管理されていない所もあり寂しい思いをする事がある。

(60 代男性、無職・その他)

郡山市だけでは魅力が弱いので、他の市町村との連帯を考えるべき、と思う。

(70 代男性、無職・その他)

郡山の魅力の一つとして農業体験を進めるべきです、コメの産地として国内にも、国外にも体験は観光の中心にしたいものです。

(80 代男性、無職・その他)